無産階級評論雑誌

大衆

VOL.1　十一月號　NO. 9

大正十五年四月二十四日第三種郵便物認可　大正十五年十月二十八日印刷　十一月一日發行（每月一回一日發行）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大衆パンフレット

豫告

無産階級の政治運動……大山郁夫

世界經濟より觀たる英國炭坑爭議……櫛田民藏

帝國主義と殖民地問題……大内兵衛

最近世界資本主義の現勢……大森義太郎

唯物辯證法解説……山田盛太郎

勞働立法現下の問題……平野義太郎

―以下續刊―

京都市丸太町通寺町東
振替大阪一七〇五番

弘文堂書房

東京市神田區淡路町二
振替東京五三九〇九番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

第一卷　大衆　第九號

□勞農黨を支持せよ……佐々木三郎（二）
□總同盟大會を觀る……松尾茂樹（五）
□『門戶解放』問題の前途……大山郁夫（八）
□右翼結成と右翼幹部……成瀨光雄（一五）
□無產農民學校の意義……西山武一（一九）
□地方的政治戰線への躍進……松岡二十世（二三）
□戰術の一規準としての
我國資本主義沒落期の現段階……薄茂人（二六）
□勞農小話……まさいち（三九）
□日本帝國主義下の植民地臺灣(調査)……陳規懷（四〇）
□國內戰線……（五一）
□英國總罷業の後……ロゾブスキー（五六）
□日本資本主義と外國貿易……伊藤昇（六三）
□ブックレビュー……（六九）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞農黨を支持せよ

分裂に對する所見

一

十月二十五日勞農黨中央執行委員會に於て、豫期された總同盟、官業總同盟の脱退に先立ち、豫期せられざる組合總聯合、司厨同盟、市電自治會が先づ脱退し、朝日新聞によれば「各組合潮の引く如く退席したる」悲壯を極めた其の日の夜、農民組合の黨中央委員諸君は、左の如き聲明書を發した。

前後三年にわたる全無産階級の努力によつて生れたる我等の農民勞働黨はさきに官憲の強壓にあひ今また一部幹部の脱退を見て一大困難に當面してゐる、然しながら全無産大衆は強大なる黨の發達を要求してゐる、又我等の眞劍なる努力はこれを實現し得ることを確信する我等は三度勇を皷し捲土重來全無産階級の希望の標的たる勞働農民黨を發展せしめもつて全階級的利益の增進のため猛進せんことを聲明する

大正十四年六月二十一日、農民組合が、單一無産政黨へのイニシアテーブをとつてから、まさに一年有半、昨年十二月一日農民勞働黨の禁止を經て、三月五日勞農黨結黨より今日に至るまで、内部に危機をはらみつゝ、しかも官憲の強壓に耐えて來たが、今や三度び、非常なる困難に直面し、その間、つねに無産政黨の支柱たりし農民組合の、黨中央委員の諸君は、「三度勇を皷し捲土重來」せんことを聲明さる。眞に悲壯の感に耐へない。

二

脱退を豫期されたる總同盟は、同日次の如き聲明書を發した。

勞働農民黨はその創立の當初において共産系勢力を抑制すべきことを申合せたのみならず去る七月二十六日の第三回黨中央委員會においては黨の基礎の確立するまで共産

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

系四團體の勢力を一切排除すべきことが滿場一致をもつて可決されたのである、然るにその後日本農民組合は右の決議に反して四團體に屬する者と共に黨支部を組織しかつ黨本部がその中止を勸告したるにも拘らず共產黨の提唱せる議會解散請願運動に參加して少しも黨の規律を守らず更に去る十月二十日および二十一日の同黨中央委員會は右四團體に對する門戶開放を決議し共產系排除の誠意なきことが明瞭となつた、卽ち黨構成の重要分子たる農民組合とわが總同盟とは共產派排除といふ根本的重大問題について意見を異にする事が明瞭になつたのでわが總同盟關係の黨中央執行委員はこゝに斷然脫退するに至つたのである

右の聲明書は、黨の命令に服せず、請願運動に參加したることを口實とするも、要するに、曳かれもの丶小唄で、根本的理由は「共產派排除といふ根本的重大問題について意見を異にする」に在る。卽ち單一無產政黨を否定するにある以上、總同盟の脫退は已むを得ざるところではあつたであらう。しかし乍ら左翼の一部に於ては、總同盟は脫退しないとの見解を有し、「進出」の根據もこゝにあつたと信ずべき理由あるも、私は不幸にして、右の見解と異りたるが故に、出來得る限りその脫退を防ぎつゝ單一政黨を速かに實現せんことを期し、少なくも、いはゆる正義派を吸引して、意識的右翼の結成力を微弱ならしめたいと欲したるも、遂いに「意識的右翼」は、私等が僅かに期待したる「正義派」をも併呑し去つたのである。

三

かくて、總同盟は、議會總選擧を目標に、農民黨、民衆黨を提さけて、取り敢えず選擧黨を以て邁進するであらふが、これが非無產階級黨たることは勿論なるも、勞農無產大衆が、彼等の指導下に低踏され、又その危險か特に大きい事情にあることに想到すれば、吾々はこれを輕々に見逃してはならないのである。

勞農黨の、之れが對策は、最も愼重に行はれなければならないであらう。

四

脫退を豫期されざる、或は又、屢々閑却されがちな立場に置かれたところの、組合總聯合、市電自治會、司厨同盟が、連袂脫退をなしたことは、黨支部の狀勢より見て、實勢力には、さしたる影響を及ぼさないにしても、一般的に見て、かなりの衝動を與えたことは確かである。其の脫退の理由、脫退後の方針については、共同聲明書の發せられない今日、遽かに推斷するをゆるさゞるも、「勞農黨の支持と各組合間の融和に努力したるも、今日に至つては最早いかんとも出來な

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

い」との理由で、脱退を速かに決行するに至つたもので、中央委員會の前夜、總聯合の坂本氏より、農民組合黨中央委員に「考慮」を促したるに對し、中央委員會の當日午後一時、總聯合、司厨は、脱退を思ひとゞまり、自治會を説破したが、容るゝところとならず、三團體の連袂脱退とはなつた次第で、それだけに、三團體の脱退は、一層遺憾でもあり、かつ踏みとゞまつて、農民組合と協力し、すゝんで黨の困難を負擔することが當然であつた筈であり、開會の劈頭、先づ脱退した態度もよくはなかつたが、自治會は、一般に知らるゝが如き内部闘爭があり、司厨同盟は郵船船員同志會のストライキ以來、株式會社海員組合幹部逆宣傳の包圍のうちにあり、總聯合は自治會と同じく、總同盟とアナ系分子に、一部を蠶食され、先づ自からの分裂を賭しなければならないやうな、それ〳〵の事情にも置かれてゐたことも事實ではあつたらう。が、しかし、いはゆる「進出」の態度に對し、總同盟が、曳かれ者の小唄として、脱退の口實に唄つたとは別の意味に於て彼等の神經を尖らせ、彼等の態度を無用に硬化せしめたるは爭はれない。かくて、豫期せざる脱退を強行せしめた。（市電自治會はなほ別の理由も存する）

五

脱退後の三團體は、政治聯結機關を設定し、かくて總同盟の右翼黨に投降することなく、さりとて、もちろん自から政黨を組織するやうなこともなく、どちらかと云へば「政治」に脊を向けて「非政黨同盟」に陷るの危險をはらみつゝ、當分はすゝむであらうとも見られるが、今や、漸やく、政治闘爭の舞臺に上らんとするにあたり、出來得るだけ組織勞働者の政治的意識を喚起し、助成すべき秋に、せつかく上り來つた舞臺より、脱出し、又させたことは、三團體にとつても、又、勞農黨にとつても、甚だ遺憾な次第で、黨は其の復歸に努め、三團體は、先づ内部の問題を解決し、唯一の無産政黨たる勞農黨の政治闘爭に合流すべきである。

三團體脱退の事情が前に述べたやうな理由に存し、同樣の理由で、入黨せんと意圖してゐた他の無産團體も存することではあるから、速かに、明日にでも、勞農黨への合流を希望して已まないものがある。

六

かくの如き、狀勢のなかに起つたところの勞農黨は、一時左翼三團體に遠慮を求め、現在あるところの支部を承認し、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

おりから來投したる水平社の協力を得て、聲明の如く、三度び捲土重來の勇を鼓してすゝまんとする。

しかるに、なほその前面には、總同盟の選擧黨との對立、脱退組合の復歸、他團體の入黨等の事業を殘すほか、議會解散の對策、政府彈壓の抗爭、未組織の結成、黨大會等の、種々重要なる事業を横へてゐる。

もちろん、事實「椅子とテーブル」に終つたところの、本來の黨本部に比べたなら、黨本部は充實され、仕事もやりよくはなり又必ずや、やるであらうことを期待して差支なきも、今後は黨をして仕事をやり易からしめ、全黨員のみごとなる協力によつて、黨をして、當面する困難を打開せしめなければならぬ。

即ち、左翼三團體は、黨大會後には、當然門戸開放が行はれるであらうから、從來第二段の備へとされた、請願運動による黨外の政治的結成を解體して黨に移譲し、總選擧を控えたるだけに、政府彈壓(解散)の危險は決して皆無とは云はれないから、彈壓の口實を與へざるやう、お互ひに戒心しなければならないと信ずる。

七

惟へば、勞農黨も、やゝこしい、複雜な道程を辿つた。總同盟中心の右翼派を逃がすこと無しに、いみじくも單一政黨を實現せんがために、複雜にして、やゝこしい道程をも辿らねばならず、途中意見の相違にも逢着して、はからずも波紋を描いた次第であり、かくて黨は、今回大きな犧牲を拂つたとは思ふが、又、このくらひの犧牲を拂はざる限り、黨の門戸開放は長期にわたり實現出來なかつたやも知れず、ともかく、お互ひに、さばくした氣持ちになれたことだけは愉快に耐えない。

取敢ねず、所見の一端をしるし、次號にて、これらに關聯する諸問題につき、深き考察をなすであらう。

（十月二十五日、佐々木三郎）

總同盟大會を觀る

東西に於ける評議會の地方大會と相竝んで、總同盟のそれは、十月三四五の三日間に亘つて、大阪天王寺の公會堂で開催された。勞働農民黨に於ける左右兩翼の正面衝突を前にして、この大會は、その積極的右翼化反動化を表明するものとして注目さるべきものである。

顧みれば、總同盟と評議會との分裂はやがて展開された單一無産政黨の問題と

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

共に、我が無產階級運動に、かつて見ざる飛躍をもたらしたものであつた。このめまぐるしく、あはたゞしい進展は、多くの人をして、その觀點を誤らしめた。例へば昨年來、福本氏によつて指摘された論爭等の如きは、いづれもこれに基くものである。さり乍ら、その后の進展は、これらの人々に、斷乎として、その誤を捨てることを要求する。殊に、此度の大會の如きは、その誤りたる觀點を捨てることを要求するものである。

今度の大會は、その第一の特徴とするところは、積極的右翼化組織的反動化である。總同盟の歩む路を最も明確に暴露したことである。先づ提出されたる議案より見よう。昨年の分裂後第一回の大會は、所謂現實主義の高調に終つて、十二の議案も、大體その範圍に止つたのであつた。然るに、今次に於ては、所謂現實主義的な改良主義の要求は、その主要なるものを占めないで、積極的に反動勢力を組織しようとする一點に、その重點がおかれて居るのである。次に掲げるのは、採決された議案であるが、

1 青年訓練所廢止案 （大　阪）
2 完全なる勞働組合法を來議會に要求する件 （東京鐵工）
3 爭議統制に關する決議案 （東京鐵工）
4 改正工場法中の附則全文を即時削除し、並に同法中寄宿舍制度を監督すべき條文を追加制定する請願運動に關する件 （關東紡織）
5 組合機關に會計會議を採用するの件 （關東合同）
6 總同盟青年運動の全國的連絡の件 （神 奈 川）
7 臨時雇傭制度中親方制度撤廢の件 （玉　造船）
8 會費値上に關する件 （本　部）
9 勞働運動者救濟に關する件 （尼ヶ崎）
10 失業保險實施促進の件（本　部）
11 職業紹介機關の改造を促す件 （本　部）
12 全國組合會議及全國總聯合に關する決議案 （本　部）
13 健康保險法中改正案提出の件 （本　部）
14 總同盟本部より婦人部機關紙發行の件 （尼ヶ崎）
15 勞働農民黨に關する決議案 （大　阪）
16 總同盟內消費組合同盟設置に關する件 （尼ヶ崎）
17 總同盟の運動方針に關する聲明書 （本　部）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

議案の十二、十五、十七、の如きは、積極的右翼化反動化の計畫を表明するものであり、三、五、の如きは、それぞ〳〵の機關を通して確乎たる統制權を把握しようとするものであり、六は、その結論であつて、命令一下肉彈を以て鬪ふことの出來る反動勢力を組織しようとするものである。即ち、總聯合に對しては右翼聯合をつくり、勞農黨はこれを破壞し、會計會議、爭議統制によつて强固なる統制力をつくり、青年前衞隊を以てはその企圖しつゝある反動勢力を組織しようとするのである。「現實主義の發展」――民衆新聞第十號――は、かくして反動勢力の組織に向ひつゝあるのである。今度の大會は、かくて總同盟のゆくべき路を、最も明瞭に曝露したのである。

大會の構成が大體上述の如くである通り、大會の空氣も反動的であつた。例へば、青年訓練所廢止案の如き、反對するものさへあり、賛成するものゝうちでも關東の福岡、齋藤二君の如きは、軍國主義的敎育のために反對するのではなくて「今日は勞働者の夜業が禁止してないから勞働者は兵役年限短縮の恩典にあづかるわけにゆかぬ、故にこれは勞働階級のものとならないで中産階級のものとなる。然るにこれに對して五百萬圓の經費を支出して居るが、勞働階級のもの健康保險法には四百萬圓しか支出せぬ、かゝる不公平がいづこにあるか」と云つた理由で、軍國主義のためでなく、夜業のため健康保險法の釣合ひのため反對したのである。平組合員のうちに湧く鬱勃たる鬪爭慾をいかに去勢すべく努めて居るかを知るに足るであらう。これは、大會を通じて隨時に看取された點である。

大會に於て、次に眼立つたことは統制の恐ろしくされて居る點である。昨年のそれには、尚多くの討論も聞えたが、今年は、一二三を除いては、無質問無討論中央委員一任で、議案は通過した。代議員は、殆んど幹部に盲從である。しかも、發言者の如きも、大阪の井上、山内、關東の福岡、齋藤、土井其他二三氏に限られ、他はたゞ聞いて居るだけである。

更に窺ひえたことは、關東同盟が次第に意識的に總同盟を支配しようとして居ることである。さきに示した反動勢力を組織しようとする議案が殆んど關東同盟の意向に依ることは勿論であるが、大會に於ても、こうした傾向は明かに看取された。かくて反動勢力は決定的に總同盟を支配してゆく。總同盟のゆく路は、最早明白に決定された。

こゝまで書いてきた時に、總同盟の勞農黨脫退が傳つて來た。これより總同盟の反動勢力への結束は進むであらう。日本の無産階級は、この勢力と決定的に鬪ふことなしには、何等の運動の進展もありえないことを知らねばならぬ。

（松尾茂樹）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

「門戸開放」問題の前途

大山郁夫

この小論文は、勞農黨の第四回中央執行委員會の開催を目睫の間に控へて書かれつゝあるものである。そして、それが發表されるのが、その中央執行委員會の終了後であらうことは確實である。で、その間に於ける狀勢の進展は、或ひはこの小論文を無用なものにしてしまつてゐるかも知れない。だが、その無用なものにされかたに依つては、それが無用になつた時こそ、却てそれの精神が活きる時であるかも知れない。兎に角、私はそれだけのことを希望することが、私に許されるものと考へて筆を進める。

一

我々は勞農黨の成立以來、それの支持擁護の態度を以て一貫して來た。殊に我々は　勞農黨の破壞されることを、何よりも恐れて來た。それは我々が、勞農黨は現在に於てこそ如何にフラフラ腰のものであるにもせよ、しかも尙ほ、我々の主張する單一無產政黨の唯一の現實既存の基礎だ、と考へたからである。で、勞農黨を沒落させては、元も子もなくなるであらう。――といふのが、我々の關心焦點だつたのである。

もとより我々は、勞農黨が將來どういふ傾向を辿らうとしても、あくまでそれに追隨して行かうとしてゐたのではない。であればこそ、我々はまた屢々、それに對して、可なり無遠慮な批評を加へて來もしたのである。我々は畢竟、單一無產

政黨主義の立場から、勞農黨の現在の脆ろき生存を强固なものに轉換させようとの希望の下に行動して來たものである。

最近に於ける民衆黨や農民黨の成立は、我々の單一無産政黨主義への熱心を一層熾烈にした。無論、我々から見れば、單一無産政黨主義は、我國の無産階級の政治行動のために定められた到着點ではなくて、寧ろそれのために獲得されなければならない出發點である。が、いづれにせよ、我國の無産階級の政治行動が現在漸く到達してゐる段階に於て、それが當然通り越されなければならない關門であることには、かはりがないのである。

右翼側の多くの人々は、現在の無産階級の政黨運動の實情が次第に單一無産政黨主義の主張から遠退きつゝあるのを見て、主義そのものが間違つてゐるのだといつて、得意になつてゐる。（それを彼等が無産階級態度だと思つてゐるかのやうに！）けれども、單一無産政黨主義が既に實現されてゐるものならば、それを一生懸命に主張する馬鹿が、どこの世界にあらう！　のみならず、現今のやうに資本の攻勢が活現されてゐる狀態の下に於て、單一無産政黨主義が間違つてゐるか、それとも、それが間違つてゐると言つて嘲笑してゐるものが間違つてゐるかは、間もなく、我國の無産階級によつて體驗されないては已まないことであらう。

二

單一無産政黨主義の根據からの勞農黨の支持といふことを中心として考へると、問題が自然と、無産階級の左翼側に向つての同意の門戸開放といふことに落ち着くのは當然である。ところが、從來この當然のことが、右翼側によつて拒まれて來たのである。もとより、右翼側は、考へ得られる限りの樣々の根據から、その態度の肯定の理由づけを試みて居ることは事實である。たとへば、彼等はこの際、單一無産政黨主義に對して些かでも讓步を見せたやうな行動に出ることは、左翼側の術中に陷るやうなものだと言つたやうなことを言つてゐる。が、彼等が果たして本心からさう考へてゐるならば、彼等が彼等自身の立場に對して持つ自信の缺乏が、寧ろ驚異に値する。彼等が若し、彼等自身の立場が無産階級的に正しいと信ずるならば、決然單一無産政黨の中へ飛び込んで行つて、左翼側と伍して堂々と意見を戰はして、そしてそれ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を克服することを努力すべきではないか？　ところが、左翼側の方では同黨の中で右翼側と論戰することを辭さない意氣込みを見せてゐるのに拘らず、右翼側が寧ろたぢ〳〵となつて、極力それを避けようとしてゐるやうに見られるのは、何としても見上げた態度でないばかりでなく、更らに左翼側を益々わらくするやうな結果にさへなるのである。否、問題は單にそれだけでは濟まないで、右翼側はさうすることによつて、縱し彼等の眼前に始終恐ろしき幻影を投げ掛けてゐる左翼側の術中に陷ることを免れることが出來るにしても、その代はりに、常に熱心に分裂政策を畫策して居る支配階級の術中に陷ることを避けることが出來ないことになるのである。尤も、彼等が支配階級の協力者であることを自ら大膽に公言するならば、問題は自から別個のものになるが。——

三

兎も角、右翼側は、從來勞農黨の門戶開放の提案を拒否する態度を持續して來て、そうして若し強ひてその提案が實現されるやうなことがあらうものならば、自發的に黨から脫退しさうな樣子をさへ見せて來たものである。それが彼等の、質のわるい奧の手であり來つた。即ち彼等の腹では、彼等が脫黨さへすれば、勞農黨が官憲の手で壓殺されることは不可避的だ、と考へられたのである。

ところで、このことが、勞農黨支持者たちに依つても同樣にまた、憂慮され來たことは、誰れもが知つてゐる通りである。同黨の第三回中央委員會で、日本農民組合がその門戶開放の主張の腰を折つたのも、主として、それに基因したものである。そして當時、日本農民組合がその點で屈服したことについては、我々には、無理もない事情があつたやうにも思はれた。

けれども、それ以來、この問題を中心とする情勢は急轉して來た。最近に於て所謂中間派結成の運動が提唱されたことの裡にも、少くとも私の聞き知つて居る限りでは、それの直接目標として、勞農黨の門戶開放といふことが着眼されてゐたのである。そして、その範圍內では、それは有意義なものだと、私には考へられた。たゞ、その中間派結成運動がこの目的の下に行はれるのならば、それは當然左翼側の諒解の下に運ばれなければならないものである。そして、さうすることに依つて、その運動が如何に困難さを增すことにならうとも、またその結成の範圍が如何に縮少される結果に導かれよ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ともいふことも、それは已むを得ないことであらねばならぬ。眞正の無產階級運動は、無產階級理論から見た正當なものであることを、それの第一次的要件としなければならぬ。そして、それについて便宜不便宜の考慮の如きものは、當然のことゝして、それに從屬せしめられて然るべきものである。

更らにまた、もつと最近——即ち昨今——となると、各地方に於ける非常に多くの同黨の諸支部や、その他の諸思想團體の側からも、來るべき第四回中央委員會に於ける支部承認問題に附隨して、門戶開放の要求が、殆んど應接に遑がないほどの頻繁さで提起されてゐるといふことである。しかのみならず、日本農民組合も、今度こそは門戶開放に腰を据ゑたことさへいはれてゐる。

かくして、勞農黨の門戶開放の機運は、刻々に成熟しつゝある。だが、それと同時に、我々はまた、右翼側のそれに對する抵抗が依然として頑强さを減じてゐないといふことをも、忘れてはならない。だとすると、この問題の討議が、勞農黨の第四回中央委員會で相當の波瀾を捲き起すだらうことも豫想される。そして、その會は今や我々の眼前に迫つて來てゐるが、しかし我々はその結果を的確に推斷し得る基礎的材料を持つてゐない。そこに我々の、抑へきれぬ齒がゆさがある。

四

この雜誌が出來る頃には、勞農黨の第四回中央委員會が濟んでから幾日も經つてゐよう。從つてその時は、會の成行は、既に充分に廣く知れ渡つてゐよう。だから、それに關する豫想をとやかくと茲で試みることは、全く不必要だともいへよう。

にも拘らず、私は會の成行に關して二三の場合を假定して、それらの各々に對して我々が臨機應變的に取るべき態度を決めておくのが大切だと考へるから、以下少しくそれについて語らうとしてゐるのである。

それに關聯して、先づ第一には、門戶開放の要求がそこで慘敗した場合が假定される。その場合には、門戶開放實現促進の企畫が再び試みられなければならない。が、その企畫がどういふ形式をとるべきものであるかに關して、私はそれの考察を奇策縱横の人々に讓らなければならぬ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

次に第二には、門戸開放の要求がそこで貫徹された場合が假定される。が、それは更らにまた二つの場合に小別けして考察されることを便利とする。で、その一つは、その門戸開放の要求がものになつたとき、右翼側が忽ち平生の態度を豹變して、黨に留まる決心をした場合である。他の一つは、それに反して、右翼側が斷然脱黨を決行した場合である。

五

門戸開放の要求が貫徹されたときに、右翼側が、左翼側の凱歌の聲をきゝながら、尚ほ黨内に踏み止まつてゐるやうなことは、彼等に取つては、可なりの屈辱の感なしには出來ない藝當である。それ故に、彼等がさうした態度には出られまいといふのが、最も常識的に考へて、當然のことのやうである。

にも拘らず、右翼側はその時に必ず脱黨するに決まつてゐるともいはれない根據も、決してない譯ではない。いかにも、右翼側の中心勢力である勞働總同盟は、近ごろ緊急政治部會を開いて、勞農黨の第四回中央委員で門戸開放に反對するといふ、その豫定の行動を取ることを決議したとはいはれてゐるが、しかしその決議は大會の決議といふ譯ではないから、それの失敗後に於て如何なる程度の影響を總同盟自身の態度の上に及ぼすものであらうかについては、特に我々のやうな門外漢に取つては、安全に豫斷が出來ないのである。

といふのは、何よりも殊に、總同盟の門戸開放反對の主張は、どの點から見ても、無産階級理論の上から、後暗い影の伴つてゐないものだとはいはれないものだからである。それ故に、總同盟の幹部が如何に努力して、それの肯定の論據を詮索することに掛つてみても、畢竟公明でないものが公明なものになる筈もなく、正大でないものが正大なものになる譯もあるまい。だとすると、總同盟内の大衆の皆が皆までがそれを承認するか否かゞ、我々には充分に疑問にされる餘地があるのであらう。假りに總同盟が正當に理由づけることの出來ない態度によつて、我國の無産階級が多大の望をかけてゐる勞農黨の破壞の直接原因を作つたなら、總同盟は永遠に我國の無産階級に對して清算が出來ない債務を負ふことにならう。總同盟の大衆は、果してそれに堪へ得るほどに無感覺的であり得るだらうか? それは我々に解けない謎であらねばならぬ。

のみならず、我々の立場から見れば、現在の我國の資本主義の頽勢の下に於ては、總同盟が狙つてゐるやうに見られた

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞働貴族的生存が、大した規模には發展し得る見込がないやうに思へるが、かうしたことは、總同盟の大衆に何事かを考へさせる機緣となるやうなことがないであらうか？ 若しくは總同盟內の統制は、他の一切の社會事象とはちがつて、無限に恒久的なものだとの保證のついてゐるものであらうか？ 私はそれを一の疑問として殘しておく。

六

けれども、何といふても、終局は、勞農黨の第四回中央委員會で門戸開放の提案が通れば、右翼側が連袂脱黨するであらうといふ豫想の方が、我々には立て易いといふことだけは事實である。我々は我々に今考へ得られるやうな薄弱な根據から濫りに豫定を恣まにするといふやうなことは、愼まなければならない。がしかし、さうした豫想が我々に可能だといふことだけ位ならば、玆で事の序に述べておいても、恐らく大して差支のないことであらう。

で、その場合に、若し右翼側が總脱黨をしたら、勞農黨の解散は必至的に現はれるであらうか？ それが我々の次の問題である。

この點に關して、我々はまづ第一に、昨年末の農勞黨の解散の經驗に過度に囚はれてはならないし、またさうした場合に於ける勞農黨の解散が當然でもあるかのやうな考へ方をしてはならない。昨年末の農勞黨の解散は、いくら若槻首相が『眼光紙背に徹する』明察を以て斷行したのだと辯解したところで、極度に非立憲的なものであつたことは、掩はれない事實である。そこで、現內閣がさういふ寺內內閣式の暴壓手段を再度試みるであらうかの點に、一の問題が横はつてゐる。

もとより、ブルジョア內閣が、ブルジョアジーに對して以外には、立憲的だの非立憲的だのに頓着しないに決まつてゐるといふのは、原則論としては間違つてゐない。だが、それと同時に、現內閣は表面上だけでは、多少は政治的自由主義の假面を冠ぶることを必要とする或る特殊事情の下におかれてゐる、といふことも、全然考へられないことではない。それは單に、現在では政府反對の諸政黨が保守的、反動的政治的立場のお株を奪つてしまつてゐる、といふ事實から來てゐるばかりではない。憲政會は次の普選實施下の總選擧には、その普選の殊勳者だといふことを看板にかけて、反對諸政黨を不利の地位に陷るには違ひない。それ故に、そのことの手前だけでも、それを代表してゐる若槻內閣は、今では歴史的のものになつてゐる寺內內閣の眞似ばかりはしてゐられないであらう。それから、最近の我國の政治的及び社會的事情の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

なかにも、若槻内閣が極端に反動的非立憲的手段に出るのを不利益に見せてゐるものも、幾らかはある。稍々遠くは長野縣事件、木崎村事件、等々、更らに近くは濱松市や北海道の市議戰の結果等々。

けれども、それと同時に、我々は餘りに問題を簡單に見すぎてはならぬ。憲政會内閣は、無產政黨を單純に無產黨だといふ理由だけで、邪が非でも壓迫することを、多少は躊躇するであらう。だが、この點に關しては、憲政會内閣に取つては幸にも、今では民衆黨とか、日本農民黨とかいつたやうな、無產政黨らしい外觀を持つたプチィ・ブルジョア諸政黨が出來てゐる。で、憲政會内閣が一方でそれらに寛容の態度を示しておきさへすれば、――さうすることは、憲政會内閣にとつては、百利あつて一害のないことだから、――それは無產政黨だからと言つて必ずしも壓迫するのではない、といふ辯解の基礎を獲得することが出來る。で、さうした上で、右翼側の撤退したあとの勞農黨を、紙背に徹する眼光で見れば、そこに治安維持法違反に近い或るものがあるといふ口實で、それを解散したところで、憲政會内閣は、少くとも無自覺な大衆を欺いて、思ふ壺にはめることが出來るであらう。さうしたことは、支配階級的政治技術の上からは、朝飯前の仕事だともいへるのである。

さうなると、問題が再びデリケートなものになる。が、いづれにしても、よし右翼側が勞農黨から脫退するやうなことがあらうとも、そのあとの黨の破滅を防ぐ仕事が、我々の當面の最大關心事でなければならないのである。で、その場合には、四圍の情況に應じて、時とすると或ひは、左翼側の再度の隱忍――少くとも適度の行動の抑制――が要求されることが正當視されるやうなこともあらう。或ひはまた、中間派の結成が絕對的に緊急視されるやうな局面も出現するかも知れない。が、後者はどこまでも、單一無產政黨主義の基礎の上でなされなければならないものであり、且つまたそれは、無產階級の政治行動に關する限り、門戶解放の最終的實現の促進を目指して進められなければならないものでもあるから、それは幾ら不便でも、左翼側の諒解の下に行はれなければならない、といふ原則から逸れてはならないのである。

それでも尙ほ追つ附かないときには、――殊に勞農黨の解散命令が農勞黨の解散の場合のやうに、疾風迅雷的にやつて來たやうな場合には、――問題はどう展開するか? それは、第二次無產黨結成の希望を前途に控へてゐて農勞黨の解散の時とはちがつて、無產階級にとつては絕望的な瞬間でなければならないから、その時にはそれに相應した絕望的な戰術が必要視されるやうにならないとも限らないのである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

右翼結成と右翼幹部

――赤松氏の所說を評す――

成瀬光雄

赤松克麿氏は雜誌「改造」十一月號において「右翼結成は必然的大勢だ」なる題のもとに、いはゆる右翼結成の必要、また必然性を力說してゐる。氏は、人も知る、我が國無產階級運動における右翼派の焦點、勞働總同盟の大立物である。この右翼幹部が右翼結成に關してどういふやうに考へてゐるか――それを見ることは我々にとつて決して無用ではなからう。けだし、我々はこれによつて、右翼結成とならひに右翼幹部の正體を究めうるからである。

氏はまづ、共同戰線論――例へば、全國組合總聯合、單一無產政黨の提唱――に對して云ふ。「……資本主義は危機に立つて居る。資本家階級は此の危機を脫しやうとして苦悶し焦燥する。その努力が現はれて勞働階級に對する壓迫となる。此の壓迫に對して勞働階級は全勢力を集中して當らねばならぬ。之れが所謂共同戰線論の根據である」。かゝる共同戰線の主張に對しては氏といへども「いかにも共同戰線論は、一應は尤もな言ひ分である」と一應は云ふことを餘儀なくされる。それはほかでもない。共同戰線の主張が無產階級の立場からはいかにしても否定しゐない正當さをもつからである！

さて、正當であると認めたならば、早速贊成したらよささうなものである。が、不思議にも、赤松氏の論理は、しかく素直には發展しない。氏を以つてすれば、「共同戰線論」には種々なる難癖をつけざるをゐないのである。難癖をつける――こゝに我々は注意せねばならない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

しからば、それはどういふ難辯か？　共同戰線論が左翼によつて唱へられるといふことがその第一である。氏は云ふ。「……今日、最も熱心に最も執拗に、無産階級共同戰線論を高唱して居るのは……所謂共産系の諸君である。」そして附け加へていへば、だから共同戰線論は悪いのである！　かうした言辭を、ともかくも無産階級の指導者たる人から聞くとは、まことに驚くべきことである。既に見たやうに、赤松氏自身もまた、共同戰線論が無産階級にとつて正當な主張であることは認めてゐる。かく認めてをりながら、共同戰線を唱へることを、氏のいはゆる共産主義者に委せて、みづからは平然としてゐるのである。無産階級に對して正當なことを、しかも現下の無産階級にとつて焦眉の急に屬することを、唱へずにをることは無産階級に對する忠實を裏切るものではないか。しかもこれが、いまや明かになつた如く、右翼幹部赤松克麿氏の態度である！　のみならず、氏はこの態度を、白々しくも、誇つて、反對に共産主義者を責めるのである！

一體、氏がかく畏怖し、憎悪するところのいはゆる共産派、左翼派は何をしようとするのか？　赤松氏みづからの是認するところによれば、それは「無産階級解放の根本原理たるマルクス主義に立つ階級鬪爭、社會主義を意識的目的とする社會××の精神」を以つて無産階級運動に處し、また勞農大衆をしてこの同じ態度を採らしめようとするものにすぎない。すなはち、眞實の階級意識の上に立ち、また大衆をして立たしめようとするものにほかならないのである。赤松氏は、實に、これに反對する。氏によれば、かゝる左翼は「神經衰弱的」であり「肺結核的」である！　大衆の間における社會主義的精神の成長、またそれに對する努力に反對する者、逆にいへば、大衆を永久に無自覺の状態に殘して置き、支配階級にいつまでも胡魔化されてゐることを望む者、欣ぶ者、――それが總同盟の最高幹部赤松克麿氏である。！　我々は、かうした赤松氏の意見と同じものを、これまで幾度か、支配階級から、例へば警視總監から、内務大臣から聞いたやうに思ふ。

さらに、氏はそのいはゆる左翼が、上に述べたその仕事を果たさうとして、右翼と鬪爭すること――種々なる方法を以

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つて、例へば「右翼首領の階級的裏切を絶ゐず大衆に暴露すること」等によつて——を極力非難する。そして、これを以つて、赤松氏のいはゆる左翼一派が「其の一黨の計畫の遂行に便ならしめんがために、全無産階級團體をして其の背景にし地盤にし踏み臺にしやうとする魂膽に外ならぬのである。」と斷じる。

だがしかし、我々が既に見た如く、左翼のなさうとする仕事——眞實なる社會主義的精神の成育——は、無産階級にとつて必要缺くべからざる、全く正當なるものである。この無産階級にとつて正當なる仕事の遂行が「企畫的」であることは、むしろ、無産階級に忠實なるものではないか。これを却くべきなんらの理由も存しない。たゞ、無産階級に反對するもの、支配階級のみが極力この「企畫」を阻止しようとするのである。

それにもまして、赤松氏が左翼の行動を「腹に一物ある」として排斥するのは——我々の既に充分に知りゐた如く——左翼の行動が右翼に對する鬪爭を含み、赤松氏がその「踏み臺にし」てゐる右翼大衆への働き掛けを礙するからである。それ以外に理由はない。だからして、左翼に對する赤松氏の攻撃においては、眼中たゞ、右翼があるのみである。右翼幹部としての自身の立場があるのみである。全無産階級、また全無産階級的の立場の如きは赤松氏の些も顧慮するところでない。

要するに、赤松氏が共同戰線に反對するのは——繰返していへば——單に、それが左翼によつて唱へられ、左翼によつて行動されるからといふことだけである。そのこと自體が果して全無産階級にとつて有利であるか、また正當であるかなどは措いて問はないのである。こゝに我々は赤松氏が、無産階級の支配階級に對する鬪爭よりも、何よりも、その右翼幹部としての地位を維持するにいかに急であるかを、その地位を搖がす左翼をば、支配階級を憎むにも増して、いかに強く憎むかを見うるではないか！　だからこそ、氏は共同戰線論に對して「………うまく當れば御慰みだが、………せちがらい此の節、庇を貸して母屋を取られる馬鹿は少いだらう。」といふ言葉を吐いてゐるのである。母屋を取られることは——よしやそれが無産階級の眞實の階級意識を喚び起さうと努める者によつてゞあつても——赤松氏にとつては餘程つらいと見ゐる。なぜそんなにつらいのか？　何か特別の理由でもあるのか？

ともかく、上のやうな難癖をつけて、赤松氏は「總花的共同戰線に望を絶つて」しまつたのださうである。そして「大體傾向を同うするものゝみの共同戰線を企圖することになつたのだ」さうだ。そして、これが氏のいふ「右翼結成の必然

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

性」だといふわけである。

それゆゑ、いはゆる右翼結成は、上に見たやうな赤松氏の意見と「傾向を同じくするものゝ」集りである。これが十五年度の總同盟大會にいふ「右翼結成」であり、いまや着々實行に移されやうとしてゐるのだ！　我々はこのことを充分に注意すべきであらう。それは右翼幹部がその地位を維持するために「全無産階級をして其の踏み臺にしやうとする魂膽に外ならぬのである。」そこでは全無産階級の眞實の利益といふが如きは、毫末も顧みられてはゐない。

さて、かうした「企畫」が、勞農大衆の間における社會主義的精神の成長を妨げ、且又、無産階級の戰線の不統一を來し、從つて無産階級の威力を減じるかぎりにおいて、結果においては支配階級を援助するものであることは、今日既に明白である。その意味において赤松氏の所説、行動は事實においてその右翼幹部たる地位を維持すると共に、またそれにより、支配階級を維持するものである。しかも赤松氏自身は、決して支配階級と「意識的に協力する」ものでないことを陳辯大いに努めてゐる。

その理由とするところは、僅かに、赤松氏その他の右翼指導者が「激烈なる日常鬪爭に參加」してゐるといふことだけである。例へば——赤松氏はいふ——「總同盟は過去一ヶ年に於て大小百〇六件の同盟罷工を敢行し」た。そして、その經濟戰には右翼幹部はこれに參加して「多大の犧牲的勞苦を拂つて居る」さうである。これはまことにその通りであらう。しかし、このことは、例へば全國組合總聯合の成立を挫折せしめることによつて、支配階級をその最も深刻なる打撃から救つてやつたことをも、支配階級と協力するものではないとする理由としては、なんら役立たない。さらに、我々がこれを意識的協力といふのは、總聯合の不成立といふ原因が、支配階級の利益といふ結果を必然的にもたらすことを、この事物の因果的過程を充分に知つてをりながら、しかもなほ總聯合の不成立に努めるといふ意味である。だから、我々は、赤松氏の上にいふだけの理由をば、右翼指導者諸君が支配階級と「意識的に協力する」ものではないといふことの證據として受取ることはできない。

いはんや、經濟戰に實際參加するぐらゐのことなら、勞働ブローカーといへども屢試みる。資本家との取引を有利するために、爭議をやることは彼等の常套手段である。それらのことは實際家赤松克麿氏が熟知されてゐる筈だ！

（二六—一〇—二三）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無産農民學校の意義

西山武一

一

五月五日の土地立入禁止事件に端を發した木崎爭議は、政治的意義を有する經濟鬪爭の一例であつて、その解決方法を出來得る限り政治化しようとする日本農民組合の根本方針は正當である。

木崎村に於ては五月十八日より小學兒童の盟休が決行され、つゞいて二十五日乃至二十八日までに六ヶ所に於て組合側の小學校が開設された。六月二日警察は事を構へて教師を放逐したのであるが、之に屈せず六月十五日再び授業を始めた。之は七月二十六日まで順調に續いたが、七月二十七日から三十日までは松ヶ崎濱村——七月二十五日の久平橋亂鬪事件を惹起した示威行列は、木崎の農民學校校舍上棟式を了へて、二里餘を隔てた松ヶ崎濱村に講演會に赴いてゐたのである——で兒童殖民の試みとして臨海教育をやつた。次いで八月二十五日より二十八日までは林間に朝學校を開いた。九月一日より新學期は初まつたのであるが、五日以後は授業をやめ、專ら少年部の活動があつた。

九月八日組合側は知事と折衝し、（1）本崎村小學校の教育內容を徹底的に改善すること、（2）高等農民學校には干渉しないこと、（3）眞島との爭議には機を見て知事が調停に立つ事を條件として、木崎村の盟休は一時中止する事にな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

り、九日無產小學校は解散式を行つた。

他方七月十七日からは北蒲原全部に亙つて小學兒童の盟休があり、七月三十一日までつゞいた。

二

もともと盟休は木崎村教育狀態の醜劣に起因することは言へ、夫は爭議の一戰術として初められたものであつた。盟休後一週間、無產者教育の必要は遂に無產小學校の開設と言ふ建設的方面にまで進んだのである。しかるに此の無產小學校は、再び爭議の戰術として閉鎖するに至つたが、一度懷抱された意圖は決して拋棄されたのではない。充分な時機を見て完全なる無產少年の學校施設は再び計畫されるであらう。夫までは新に創立された無產少年團によつてブルジョア教育の汚毒を可及的に弱からしむべく勉める外はない。

建設的傾向は更に高等農民學校の開校となつて現れた。十月一日農繁期の小雨の中に、生徒三十名その他教師、組合員によつて、さゝやかな然し實に嚴粛な入學式が行はれた。六月、地主田卷によつて校舍の建築工事が停止を止むなくされた時、婦人と小供は丘の梨畑に佇み合つてひそかに泣いたのであつたが、入學式まで漕ぎつけるに及んでは組合員は無量の感慨に泣けたのである。

十月一日開校したのは一ヶ年修業の本科であつて、その授業課目は、物理・化學・作物・園藝・土壤・肥料・畜產・病虫害・國語・英語・世界文化史・日本經濟史・地理・數學・及び農場實習である。

本科に次いで更に二ヶ年修業の研究科を置いて中等程度の教育を完成する一方、降雪期四ヶ月の農閑期を利用して專修科を開き、青年鬪士の養成につとめる筈である。之は十二月一日の開校で、既に他府縣よりも五十通餘の入學申込みがある。

三

爭議を機緣とし、同盟休校を機緣として無產階級的教育機關が發生した。之に對し文部當局縣當局その他有象無象は口を揃へて、教育は超階級的であり、兒童に階級的思想を鼓吹するは、その純眞を汚すものであると非難し、農林當局まで各方面を通じて御殿女中式な壓迫干涉を加へつゝある。

然しかゝる愚昧の徒に對しては、公平超階級的なる教育界して存在し得るやと反問すれば足る。教育の公平は自ら限界を有するものであり、表面的なものにすぎない。教育とは一時代の支配階級が所有する諸觀念の再生產、夫の大衆への强制に外ならない。教育する所の教育者が既に支配階級的觀念に浸潤して居り、且つ教育の中樞を制するものは或は實業家中橋であり、地主岡田である。學生の盟工破り、軍教の學校

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

入り、社會科學研究の暴壓等は今日の學校教育の有産者的性質を暴露する一端である。

たま〳〵公平を標榜する有産者の教育が、その實質に於ては峻嚴なる有産階級的態度を持し、公然と階級教育を標榜して立てる無産者教育が、その本質に於ては却つて非階級的教育の萌芽を藏してゐるのは興味ある對照である。

公平なる教育とは唯心論者の夢想にすぎない。所謂教育も又一時代の客觀的情勢によつて決定さるべき觀念的行爲にすぎないのである。

四

階級教育としてのブルジョア教育は如何なる變遷を爲したか。

資本の勃興期には劃一主義詰込み主義の教育である。急激に成長する國民經濟は、多數の教育完了者を速成的に製出する事を要求した。明治維新後の日本の教育界を見よ、又十九世紀後半隆興期のドイツを見よ。

資本主義の盛期に於て自由主義教育が蔓浸する。英國に最も早く自由主義教育が行はれ、最近に於ては新興資本王アメリカの膝下に於てブルジョア自由主義的な教育法が流行してゐるのは、正に此の理由に外ならない。歐洲戰爭後期に於て日本も又自由教育に一指を染めたけれども、二指三指を染むるいとまもなく資本凋落の時代は來り、直ちに反動的保守的教育思想が擡頭しつゝある。

現在に於ては日本の教育界は此の二潮流の混在であり、放縱と頑迷混沌として思想の自殺を強いつゝある。夫はモダーンボーイ並びにガールの軟弱性不良組と軍教・青少訓練・國粹主義諸團體等々の暴力性反動とが、織るが如くに交錯し、その間何等の平衡統一を有しないのに似てゐる。資本の壞滅期にかくの如き思想の混亂があるのは當然であるが、その間を一貫する主潮が結局鞏固なる反動思想である事を見逃してはならぬ。實に此の傾向こそ、表面まとまつたものを持たないかの如く見ゆる日本教育界の指導精神であるのだ。

五

無産者的教育は、何故に存在せねばならないか、又如何なる點に於て有産者的教育から、自己を區別するのであるか。

第一に今日のブルジョア的教育の害毒から青少年を救はねばならぬ。此の爲に無産小學校が開かれるのであるが、夫が不可能な場合には、少年團の組織・日曜學校の開設によつて一日も早く兒童に植ゑつけられる奴隷思想を排除せねばならぬ。

第二に、小學を了ゆると共に教育施設を全く有せず、文化娛樂の設備すら有しなかつた無産（殊に農村に於て夫は甚し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

い）青年の爲に就學及び啓發の機會を提供する任務を有してゐる。斯く考へて無產農民學校に於ては、一ヶ年及び二ヶ年修業の本科及び研究科を經營する傍、四ヶ月修了の專修科及び最寄地方の青少年の爲に小研究會、讀書會、茶話會等を開いて此の任務を果す筈になつてゐる。

次に、その教育方法は如何なる特徵を有するか。

夫は第一に劃一主義に反對し、個性の伸長を意圖する點に於て、保守的教育方法に反對である。革命ロシアの小學校に倣つた譯ではないが、無產農民學校は一切生徒の自治統制であり、教師は之を指導監督するにすぎない。

然し夫は決してプチブルジョア自由主義•文化主義の如く弱く甘いものであつてはならない。そこに於ては鞏固なる訓練と團體的行動が同時に存在しなければならぬ。夫は學生に鐵の如き意志と健全なる行爲力と、共同一致、相愛互讓の精神を修得せしめるであらう。かくの如きは彼のブルジョア自由主義教育者の決して思ひ及ばざりし所であらう。而も又之は決して個性の沒脚に墮するものではない。何となれば夫等は一切無產者學校にあつては兒童、學生の自發性によつて營まれるのであるなら、自由主義と團體訓練の渾然たる統一は、宛もかの民主々義と中央集權の融合と同じく、無產階級の特殊なる歷史的地位に基いて可能なのである。

第三に無產者教育の特徵は、教育と生產勞働との融合になければならぬ。之は生產勞働に從事する階級にとつては必要であると同時に、又その階級に於てのみ可能である。農業技術、工場勞働、手先仕事等は教育の必須不可缺なる內容とならねばならぬ。夫は學生に生產技術を習得せしむる爲のみでなく、又彼に堅い意志と強い行爲力とを練習せしめ、個性と人格を健全ならしむる爲に必要である。生徒の志望する職業によつて、或は商店に送り、或は會社におくり、或は工場農場におくつて職業的教育を施すと言ふテーラー式教育法は世俗的實務思想の發現にすぎないのであり、アメリカ資本主義の御用思想であつて、彼此混同する事は出來ぬ。

六

木崎村の一角梨畑にかこまれた小丘の上に松林を背景として無產農民學校の校舍はそびえて居る。羽越につゞく山脈は東方に連つて表日本との境を區切り、西北日本海より吹き來る濕風はやがて越後の野を白雪に埋めるであらう。教師は生徒と共に此の校舍の中に起臥し、無報給の苦しい中に建設者の忍耐を以て生徒の教育に勉めてゐる。

當局の壓迫、經濟上の困難は學校當局者を常に苦しめてゐる。天下に公開し、既に縣外よりも數十名の入學希望者を出しつゝある新潟縣北蒲原郡木崎村、無產農民學校に對して天下の無產階級の熱心なる支持を希望する。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

地方的政治戰線への躍進

——北海道五市に行はれた市議戰の結果——

松岡二十世

一、緒論

十月三日以來北海道各都市、札幌、旭川、室蘭、小樽、釧路（函館は十日後）に相次いで行はれた市議戰は、普選法實施以來濱松に次いで第二回目の改選であつた。濱松に於て勞働組合側より一名、勞働階級を背景として三名の當選を得た例に鑑みても、北海道に於ける今回の市議戰は無産階級の政治勢力をトする有力なるバロメーターであつた。吾等は先づ大正十一年の改選期に比し今回の普選法實施による無産階級の政治戰線への進出を見なければならぬ。

	大正十一年有權者數	上に比し今回の增加	同上增加率%
札幌	一二、七三三	九、七二七	七六・四
旭川	六、九五四	三、七六二	五四・一
小樽	一三、一三〇	七、八四六	五九・三
室蘭	六、九九一	二、一三四	三〇・五
釧路	四、〇〇五	三、〇三六	七五・八

これによつて見るに、前回の約七割五分乃至五割九分（室蘭は例外として）の有權者は新に選擧權を獲得した無産階級と見ることが出來る。此の新有權者の投票が如何に行使せられるか、從來の如くブルジョア候補者の單なる餌食となるか？將又何の程度に無産階級候補者を中心として結成せられ得るか？は、更に第二の客觀的條件たる各都市に於ける無産階級の實勢力、即ち組織勞働者の勢力によつて決せられる。此の第二の條件に於ては北海道各都市は必ずしも無産階級に有利な情勢を有してゐない。即ち函館を除く上の五市に於ける勞働組合の組織運動は僅かに約一ケ年の歴史を經過してゐるの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

みであつて、旭川市の如き旭川合同勞働組合が發會式を擧けてより未だ一ヶ月も經て居ない。而かも今回の選擧に於て室蘭を除く四市の無產階級候補が、何れも驚くべき好結果を以つて勝利を見ることが出來た所以は、一つには北海道の殖民地的特殊事情によるものである。試みに五市に於けるブルジョア既成政黨の得票と、公認候補として又應援候補として勞働農民黨の各支部が獲得した投票數を掲げれば、

一、既成政黨		
憲政系	二四、三〇〇	（當選者　七八）
政友系	一〇、〇九八	（同　三五）
本黨系	六、二〇四	（同　二五）
二、勞働農民黨	一、五三二	（同　四）
三、中立	一三、七二九	（同　三二）

此の結果は北海道に於ける勞農黨の陣容を考へる時、決して失敗であつたとは云へぬ。勞農黨支部の設立は函館市に於ては最も早く八月上旬發會式を擧げたが、他の都市に於ては準備協議會の程度に止るもの多く、僅かに小樽市に於ては九月五日の北海道支部聯合會成立後支部として發會式を擧げた。從つて今回の市議戰に於て各都市が連絡統一ある運動を行ひ得なかつたのは勿論であるが、而かも能く此の結果をおさめ得たのは、北海道に於ける無產階級運動が如何に政治的に活動的であるかを示す有力な證左である。單にこれが市議戰であると云ふ理由によつて其都市內部の問題のみが問題とせられると云ふ筈はない。殊に北海道の各都市の市政は、所謂第二期拓殖計劃案——我國資本主義の帝國主義的再搾取案——によつて全道的な開拓を行はんとしてゐる道政と、最も密接な關係を有してゐる。北海道無產階級にとつては此の帝國主義的支配と戰ふべき任務を負はされて居る必然の要求から、勢ひ政治戰線に於ける進出を急がなければならないのである。此の意味から云へば今回の市議戰は來るべき（大正十七年の）道會議員戰に對する前哨戰とも見ることが出來る。今簡單に各都市別の觀察を試みるであらう。

二、札幌市

階級的構成から云へば札幌市はペチブル階級乃至俸給生活者階級を最も多く包含してゐる。勞農黨支部設立の準備運動が始められたのは六月上旬のことであつたから、その後俸給生活者を政治的に結成せしめ得る余裕は殆んど無かつた。從

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つて今回の市議改選に面して確實な得票を豫想し得られたのは組織勞働者である。全日本鐵道從業員組合苗穂支部から支部長田中好雄君が擧げられて立候補したのは、蓋し札幌に於ける勞働階級の實勢力が同工場を中心としてゐることを示すものである。同工場は約九百近くの職工を有し鐵道從業員組合が本年二月頃より今日に到るまで組織し得た數は五百五十乃至六百と傳へられてゐる。此の組織勞働者を背景に、しかも田中君は勞農黨支部組織の運動に對しては最初より最も熱心な先驅者であつたから黨支部準備協議會の應援も積極的であつた。六十六名の候補者中唯一の無産階級候補として、獨り鐵道從業員組合員のみならず一般無産階級の間に於ても期待されるところが大であつた。玆に特筆すべきは旋盤工たる田中君の立候補に先立だつて同工場の庶務主任平井貫太郎氏が同じ工場を背景として立候補したことである。即ち札幌に於ける無産階級代表は、同時に同一工場のブルジョアの代辯者と得票を爭はねばならぬ不利な狀態に置かれた。而かもその結果は何うか、田中君は三十六名の當選者中第二位の高點で勝利を握ち得て勞農黨のために氣を吐き、同時に庶務主任平井氏にまさる二十四票の四百九十票で苗穂工場のためにも勞働階級の勢力を知らしめた。

三、旭川市

旭川市は勞働階級の實勢力は甚だ尠ない。大工場と云ふべきものは殆んどなく、過般組織された合同勞働組合の構成分子も馬車追、雜職に到るまでの分子を包含しその確定數も未だ一般に明らかではない。從つて同市に於ける無産階級候補は分散した無産階級分子をも目標としなければならない。一方勞農黨の同市に於ける陣容は未だ形をなしてゐない。僅かに日本農民組合北海道聯合會が本部を同市に置く關係上、聯合會内に旭川支部準備會を設けて農村に於ける政治的結成に努力してゐるが、在來市內に組織勞働者が無かつたため勞働者農民を含んだ準備協議會の運動も未だ着手されて居らなかつた。從つて勢ひ勞農黨の個人的加盟者が、個人的に政治的地盤を開拓する外はなかつた。此の任にあたつたのは印刷業を主とする木下源吾君である。未だブルジョア色を脫し切らない同君が勞農黨の名によつて市議戰に奮鬪するに到つたのは主として旭川合同勞働組合が同君を支持したことによるものである。同君は如何なる事情か先に幽靈組合たる全日本農

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

民同盟の理事として同組合の會議に參加してゐる。併しながら「農民は農民黨へ!!」を標傍する同組合の異體同身日本農民黨も、今に到つて勞働階級を背景とする木下君を竝致し得ないであらう。同君は既に二百五十二票第六位を以つて當選した以上、最早旭川勞働階級の代表であり、ブルジョア御用黨に賣らるべきではない。最後に、旭川市の勞働階級が未だ組織運動の初端にある現下の情勢は、勞農黨成立當時よりの最も熱心なる黨員前野與三吉君をして中立候補として聲をあげしめざるを得なかつた。同君は未組織勞働者の得票を大部分とした二百七十九票第五位を以つて當選した。今後同市に於ける勞農黨の結成と相俟つて、同君は勞動階級の政治的勢力を高めることに貢獻するであらう。猶、憲政會代議士淺川浩氏が僅か百票の得票を得て落選したのは、ブルジョア政黨沒落の第一歩を語るものである。

四、小樽市

函館に次いで勞働階級の組織運動が急速に進んだのは小樽市である。艀勞働者、北海製鑵の工場勞働者等を擁して昨年八月以來組織せられた北海道地方評議會所屬小樽合同勞働組合は現在約六百以上の組合員を結成してゐると註せられてゐる。此の組織勞働者を背景として今回の市議戰に擧げられたのは同組合の組合長境一雄君である。同組合より衆望を擔ふて立候補した境君は、更に勞農黨小樽支部の熱烈なる應援を得、友誼團體たる北方海上聯盟も亦同君を支持し、加ふるに無產階級候補として唯一の武器たる言論戰に於ては最も勝れたる雄辯の所有者であつたので、其の結果は實にブルジョアをして啞然たらしめた。即ち開票の結果は當選者三七六名中最高點の六百八十七票を獲得した。これを最下點の二百三十票に比する時殆んど三倍に近からんとして居る。小樽市の無產階級の政治勢力を之によつてトする時、優に二人の當選者を出し得る筈であつた。無產階級陣營に於て此の準備をこり得なかつたのは、勞農黨をして今日の地位にあらしめた我國無產階級運動の自身の中に含む苦悶の現はれである。

五、室蘭市

北海道に於ける最大工場たる室蘭製鋼所を有する同市は、室蘭合同組合が最近組織運動を進めてゐること傳へられるが、未だ階級的勢力に於ては其大をほこることが出來ぬ。從つて同市の市議戰にのぞみ製鋼所から八人の立候補を見て八人とも當選したが、そのうち七人まではブルジョアの代辯者たる高級社員で、僅かに百九十票で當選した重泉榮助君一人のみは純粹の職工であるが、無產階級の政治運動に必要なる不斷の闘爭に於ては何程のことをなし得るか疑問である。外に板垣治助君が勞農黨より立候補したが、惜しくも當選圈内に遠

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ざかることゝ十二票の差百十一票で敗れた。

六、釧路市

釧路市に於ける勞働者の組織運動が着手せられたのも近々四五ヶ月を出でない。此の短期間に於て一方勞働組合の組織と共に勞農黨支部準備協議會の設置を見、今回の市議戰にのぞむや同會の創設者の一人平本文作君をあげて候補とし、力戰の結果百三票の得票を獲得し得た。

七、結語

以上の結果を總括する時、無產階級より出で、又は無產階級の支持による候補者が其當選と否とを問はず獲得した得票數は左の如くになる。

	候補者數	得票數	新有權者數
札幌	一	四九〇	九、七二七
旭川	二	五三一	三、七六二
小樽	一	六八七	七、八四六
室蘭	二	二六二	二、一三四
釧路	一	一〇三	三、〇三六

吾等はこれによつて政治戰線に於ける無產階級の將來をトすることが出來た。今後の北海道無產階級の任務は第一に組織である。組合と政黨と、北海道の運動はその兩方面の組織が同時になされねばならない。(十月八日車中にて)

北海道地方選擧の結果

――無產階級の新勢力――

市名	候補者總數及定員	憲	政	本	勞	中立
札幌	六〇(三六)	二八(一七)	六(三)	一六(九)	一(一)	一二(六)
旭川	五五(三六)	二四(一五)	一五(一四)	二(二)	一(一)	一三(四)
室蘭	五二(三六)	三三(一五)	二(二)	一五(一〇)	一(〇)	一〇(九)
小樽	六五(三六)	三〇(一八)	二五(一四)	四(一)	一(一)	五(二)
釧路	三二(三〇)	二一(一五)	一二(五)	一六(一一)	一(一)	二(二)
函館	—(四〇)	—(一五)	—(一三)	—(—)	—(二)	—(一〇)
合計	二六二(二一四)	一三四(九三)	五九(四九)	五三(—)	五(六)	四二(五二)

註、( )内は當選數、立候補數は函館を除く。卽ち立候補數に對する當選步合は勞農黨の八割を主とし、既成政黨に於ては憲政六割三步、本黨六割二步、政友六割一步、中立五割六步である。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

戰術の一基準としての我國資本主義沒落期の現段階

薄　茂　人

一、戰術の基礎

「抑も無產階級運動、勞働運動はその對象たる資本主義の發展段階と、その段階を示す狀態及味方の勢力の變動に應じて絕えず戰術を變更して行かねばならぬ」(總同盟の劃時代的宣言の序節大正十三年二月)

「凡そ無產階級運動の正しき、戰術の基礎は、常に過去の經驗に對し峻嚴なる自己批判と綜合とを行ふと共に、眼前の客觀的狀勢を精密に解剖し、以て將來の戰術を確立することに存してゐる」(組合評議會擴大中央委員會宣言の序節大正十五年一月廿四日)

また、かの理論派陣營の、奧まりたる一室に、自からの意識的過程の成熟を成し遂げたる、わが福本和夫氏の尖銳なる理論に據れば

「我が無產階級は、今やあまりにあわたゞしくも、――しかも必然的に――この大きな一つの問題(註一般に資本の現實運動の法則を探究すること、特定的に日本の資本主義の現實的運動を究明すること――これらは方法論上一つの問題たり得る)――自己の根柢を統一的につきつめ、よつてもつて自己の全運動の現實的過程を究明するといふ問題に當面しつゝあるもの〻如く見ゆる」

「そして、この問題の解決こそ、現實に彼の行動の意義を決定し、彼の戰術を指導するの基準となるところのものである。けだし、無產階級は、其の當面の最も正確にして客觀的なる分析の中に、其の行動其の戰術の基準を見出さなければならぬ」(「マルクス主義」方向轉換と資本の現實的運動大正十四年八月)

無產階級運動の戰術を確立し、戰術を指導する基準たるべき客觀的狀勢——其の一問題としての資本の現實的運動——は、われ等の陣營にていかに精密に解剖され、又いかに、最も正確に分析されたであらうか。

吾々の、當面の問題の基礎は、此所に出發しなければならぬ。

二、「高橋氏より福本氏へ」展開の未遂

しかるに組合評議會は、いかに精密に解剖したる乎。

「我國に於ける資本主義の現狀を顧みること、國際資本主義の一部としては、資本主義の一般的運命を辿つてゐることは明かである。

それと同時に、我國に於ける資本主義の特殊な發達の結果として、特殊な意味に於ても、資本主義は行詰つてゐる。

……我國の資本主義は、生產の編制に於ても、生產の技術に於ても、先進資本主義の達した水準に達して居らぬ。然るにこの段階に於て、早くも行詰つたものである。………

…極度に低い生活を强ひられて來た民衆の、極度に低廉な勞働を基礎として、即ち原始的にして無制限な勞働搾取によつて、僅かに成り立つてゐるものである。然るに、斯やうな基礎の上に資本主義の發達し得る限界は、自から定つてゐる。我國の資本主義は、最早現在の基礎の上には、これ以上發達を爲すべき餘地がない。」(組合評議會創立大會宣言大正十四年六月)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

吾等は、こゝに左翼陣營のなかに無批判に迎へられたる高橋龜吉氏、經濟綱領の躍出せるを見て、こよなく興味深きを覺ゆる。

「…世界資本主義は決して回復すべからざる沒落行程に入り、世界資本主義の一環たる日本資本主義も必然に同一の運命を辿りつゝある。

その強烈なる沒落期の特徴は、財政の收支狀態、金融、企業、貿易其他の方面に歷々と現れてゐる。（如何に歷々と現れてゐるか）、最近、貿易の好調、圓價の恢復等、資本主義の一時的安定に類似する現象がおこりかけてゐる。……しかし帝國主義時代の資本家は、如何なる場合に於ても、勞働者農民を一層激烈に搾取し、一切の負擔を無產階級に轉嫁してのみ、其「安定」を持ち得る。今日の貧弱なる「安定」に類する現象の生じるためには、勞働階級は旣に賃銀低下、時間延長、解雇、大衆的失業といふが如き、忍ぶべからざる代價を拂つてゐる」（組合評議會擴大中央委員會宣言大正十五年一月二十四日）

福本和夫氏は、右の擴大中央委員會宣言を發したること、同年同月の雜誌「マルクス主義」に於て、「今や我國に於ても、亦強烈に沒落の過程を辿りつゝある」こと、有力なる裏書を與へたばかりか、かくしてこゝに示したる大正十四年六月――大正十五年一月に跨る之等二つの宣言の連關は、高橋龜吉氏より福本和夫氏への進出を明示する。（資本主義の行詰りより、強烈なる沒落へ）しかし、然るにも拘らず、吾等の陣營に於ては、何人によるも、宣言に盛られたる諸問題――問題の連關。行き詰りより、強烈なる沒落への、資本主義の展開――類似せる一時的安定等々…精密に解剖され、正確に分析されたるを見ない。

福本和夫氏こそは、正確に分析されたであらうか。

氏は河上氏の蓄積論の批判、高橋氏の日本資本主義行詰論の吟味を、約束された。（雜誌「マルクス主義」大正十四年八月）

かくてこそ、高橋氏より福本氏への展開を完成せしめ得るいはゆる問題の、「分析、批判を困難ならしめる」、我が資本主

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

義が世界資本主義のうちに占むる特殊性につき「私は近く、別にこの點を詳細に分析究明するの機會を持つであらうふ」(雜誌「マルクス主義」十四年十月號)ことを、又しても約束され、かくて、大正十五年一月の雜誌マルクス主義「勞農政黨と勞働組合」に於いて、

「わが無産階級は、いかなる社會的地位——狀勢の下にあるか、簡單に次ぎの如くいふことが出來やう」

とて、あまりにあはたゞしくも、簡單に四項目を羅列されたのみで、遂ひに、氏の最も得意とさるゝ、分析、究明、檢討、追跡を怠り、正しく把握するところなく「高橋氏謀殺未遂」のまゝ、爾來こゝに、わが福本和夫氏のユニークな論理がめざましく展開されつゝある。

三、歪曲されたる特殊性

我國資本主義の特殊性は、以上の記述が示す如く、特にこゝにひき出さねばならぬほど、其れは重要なる問題であるが、しかるにはからずも、わが福本氏をさし置いて、既に河野密氏により何程かの分析、究明が行はれた。(社會思想、大正十四年八月號)、

日本資本主義の特質(世界的崩壞過程に於ける)

一、未だ工業資本化せずして、國內的に行詰つたことである。この結果はa農村の無産人口の過剩こその階級的特殊性、b組織不可能なる無産又は半無産人口、c、階級的對抗の代りに、大小規模の騷擾(米騷動は偶然で無い)

二、封建的色彩を以て色濃く塗られてゐる、即ち帝國資本主義的段階に適應すべき社會的構造、政治的組織を具備しない。この結果、a無産階級組織の缺如若くはこれによる惱亂の反覆、b反動的勢力の擡頭その執拗性、c當然無産大衆分子の反動化

三、發達の當初より帝國主義の搖籃のうちに育れ、官營工場の發達を促してゐる。この結果はa勞働組合の橫斷的團結

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の困難、b國家社會主義による危險性、c經濟行動即政治行動たるパラドクシカルな傾向(以上要項を示す)

河野氏の見解とは、やゝ異るところもあるが、くはしく論ずるは、この論文の目的では無い。しかし、こゝに關聯する範圍に於て、これだけのことは、云ひ得らるゝ。河野氏の様式にならつて云はう。

世界資本主義の不安定(永久恐慌)に於ける安定(產業勞働時報號外十五年一月、組合評議會擴大中央常任委員會報告に基く)かゝる安定は、なほ保れてゐる。かくてわが資本主義は、特殊の發達段階に於て、其れ故に資本の現實運動の諸形態は加速度に發達しつゝある。この結果は、

aブルジョア陣營の一部と、無產階級右翼につながる自由主義の一時的繁榮——チャーチスト運動前後の自由主義だらうなどゝ、早合點はしないことである——それは重工業と輕工業、金融資本と產業資本、資本主義生產と非資本主義的生產の、諸對立の上に咲き出でる。それは右翼展開の一基礎たり得る。

b工業資本化せざる結果(組合評議會の創立宣言は、かなり過重に評價してゐる、近年の非資本主義的產業の急激なる資本化從つて又封建的盤根の征服されつゝあるを見る)と、他の特殊事情に基き、吾等の背後に、閑却されたる未組織大衆(全勞働者の九割四分六厘)を殘したるまゝ、わが資本主義は現段階に達した。

これ等未組織大衆は、無產階級右翼、(福本氏の用語に從ふ)又は非無產階級的右翼或は又、ブルジョアジーの意識的反動化政策のもとに、引きいれらるゝの危險は、それ故に最も大である。かくていかにして、吾等の陣營に、危險にさらされたる未組織大衆を、速かに組織すべきかの、問題が橫はる。

しかるに、福本氏自からは、特殊性の分析批判を、ことさらに回避するものゝ如く、しかも漫然と、特殊性の一つの方面(後れてゐるといふ方面)に對する不當なる強調乃至固執を、非難される。(雜誌「マルクス主義」大正十五年十月號)かくの如き「不當なる評價、乃至歪曲」は、福本氏にこそ在れ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

四、我々資本主義の現段階

然らばかゝる「特殊性」を引提げて、今や、世界資本主義の没落期に合流しつゝある、わが資本主義のいはゆる「強烈なる没落」の現段階の樣相は如何。そも〲何を以て強烈と云ふや。

國家資本主義への諸傾向

1、製鐵産業の完全合同への進行――國際的トラスト成立による急速度の進行。製毛トラストの進行。製紙カルテル、減産一割二分協定の完全協定。製粉合同――全生産の七割三分六厘。全國的運送會社合同。砂糖カルテル(精製糖)製肥(過燐酸)産業の減産協定の確立。石炭カルテルの完成。銀行所有の有價證券の固定――かくて金融の産業支配の深化。朝鮮製炭合同。(綿糸紡績、産業の操短協定その他を除く)

2、公益事業(鐵道、電氣、瓦斯等各々)法改正、――改正による國家の統制。電力事業國有計畫――國有と民營統一の對立。金融制度調査――特殊銀行による普通銀行の統制。保險制度調査――保險(損害)官營の第一段階。さらに又、既成政黨の一部に、重要産業、土地等の國有――自由主義的意見の提出されたるを見る(國營産業――鐵道、製鐵、機械、通信其他事實――の特殊的條件は既に存する)

これらは、如何にして可能ならしめつゝあるか。

1、資本主義經濟の改善。物價低落――一九二五年十月に下向ひたる日英米物價――これに先行する勞銀の低落主として減産協定に基く滯貨の減退。金融緩慢、從って金利低落(昨年よりコールマネー二厘方の低落)。企業の没落と整理の進行。株式會社計畫資本の増加、特に金融鐵道軌道電力産業。勞農無産大衆――鋼鐵産業の無組織――の、忍ぶ可からざる代價(前揭宣言)の貢納。また無産階級に對する――未組織九割四分六厘と農民――資本の政治的權力の攻

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

勢。

2、政府の財政々策。緊縮政策による財界の整理促進(大資本家の保護)。關稅改正(主こして産業資本の保護)。金利政策(主として金融資本の保護)

國際經濟の一環としての諸關係

1、外資輸入こ資本輸出 (大正十四年末)

輸入外資高		一九六六(百萬圓)
內公債	英	九〇八
	米	二九四
	佛	一七〇

外國公債		三四〇(百萬圓)
在外正貨		二五七
對外投資		一八一一
內	支那	七六四
	滿洲	六三一
	南洋	一三三
	露國	二九一

復興資本(發行者利廻り七分九厘弱といふ高利ではある)電力資本が、英米より流入しつゝある。以て世界經濟の一時的安定を知る。

2、國際收支狀況

	受取勘定 輸出	受取勘定 貿易外	支拂勘定 輸入	支拂勘定 貿易外	
十二年	一四四七	四六〇	一九八二	二九〇	三六五
十三年	一八〇七	五一八	二四五三	三五六	四八四
十四年	二三〇五	四九〇	二五七二	二五〇	二七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

十五年	一五〇六	一	一九〇九	一	四〇三

備考、單位百萬圓、貿易外收支は概算、十五年は九月迄

A、わが輸入品のうち、內地製品無きもの平均三割九分、內地製品の不足によるもの平均三割八分。輸出に於て原料並に全製品の增加を見つゝある。

B、大正十四年度貿易主要國別割合、

	輸出	輸入
支那(關東州、香港)	二七	一五
南洋(英印其他)	一四	三一
米國	四三	二五
歐洲(十二ヶ國)	六	一七

C、貿易上に於て、纖維產業(輕工業)は、極めて重要なる位置にある。(單位百萬圓十四年度)

	輸出		輸入
原料	一〇三三	原料	一一二九
全製品	五九五	全製品	六七
計	一六二八	計	一一九六
全輸出に對する割合	七割	全輸入に對する割合	四割六分

3、圓價恢復、紐育電信賣三八ドル二分の一(十三年十月)より四八ドル二分の一(十五年九月)(平價四九ドル八分七)

4、保護關稅(前揭)

これらの指數するところは如何。

1、世界の金貨、九十四億ドルの、半分を占有するところの米國に、わが資本主義は多くを依存する。歐羅巴よりも、米國の影響に支配され、テームス河の水よりも、ハドソン河の水は濃く、わが岸を洗ひつゝある。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

2、「社會的永久不安」に襲はるゝ、隣邦支那との諸關係は、切實である。しかし「對支輸出資本」は、滿鐵、紡績（其他重工業資本）を除けば、多くは死滅してゐる。

3、輕工業資本（平和的資本）は、戰鬪的性質を帶びつゝも、國際經濟の一環として、其の均衡を保つの使命を辛くも果しつゝある。

4、「外交的政策」、南洋貿易會議、關税政策、爲替政策（金の輸出禁止は未だし）等による、政府の必死的努力は、貿易の何程かの改善を促しつゝある。

矛盾の集積と擴大

しかるに又、わが資本主義沒落過程に於ける現段階の、かゝる諸形勢は、必然に其の内的矛盾の集積と擴大を曝露しつゝある。

1、國家資本主義への諸傾向のうちに、協定破壞が示すところの矛盾。協定外産業に於ける無政府狀態の深化。大中ブルジョア間の矛盾。國有資本とブルジョア間の矛盾。物價と賃銀の矛盾。政府の諸政策と無産大衆との矛盾。資本の政治的攻勢、わけても農業との矛盾――、こゝに資本主義征服の途上、窮乏の前に投げ出されたる農民大衆を見る。

2、國際經濟のうちに、輸入資本と輸出資本の均衡の破綻。國恥公債が示すところの吾國資本主義の總體的位置。隣邦支那の永久的不安。支那、南洋諸島との關税の累積と矛盾。ロシア市場、利權の恢復し難き喪失。ハドソン河――それはテームス河に合流する――の、屢々濁流に洗はるゝ、こゝに世界資本主義に於ける強きつながりを見る。

五、戰線の統一

かゝる現實の諸形勢――資本主義（又特殊的條件）の現段階と矛盾――一局面に自からの意識を尖鋭化することではな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

く、その全具體的の複雜性、――對立――の上に、――我等の行動の意義を決定し、吾等の戰術を指導する基準――その上に必然に打ち樹てらるべき戰術は、政治的經濟的戰線の統一（組合評議會擴大中央委員會宣言――當面の最大なる鬪爭方面――勞働組合の統一、無產政黨の結成――勞農黨支持）に在る。かくて、又これによる未組織大衆の組織――無產階級的右翼の存續展開は不可能であると否とに拘らず、だからと云つて非無產階級的右翼の存續又一大展開に對して盲目であつてはならぬ（マルクス主義十五年十月號北條一雄氏）――でなければならぬ。かゝる戰術は諸形勢の分折のうちに、不可避の戰術として、決定されるところのものであり、こゝに、今やわが無產階級は無產未組織大衆を閑却しつゝ、勞農黨の支持、組合總聯合結成の形成過程――又必然の――問題に當面しつゝある。

かくて又、これが完成を成し遂ぐるためには、わが陣營の全具體的複雜性の上に立ちつゝ、理論鬪爭の一本槍――いかに理論鬪爭は行はるべきか――のみではなく、そこには多樣なる方法、樣式の執らるゝことを知らねばならぬ。あはたゞしくも、今や、政治鬪爭の舞臺に上り來りたる我が、無產階級は、戰術の基準となる客觀的狀勢――又一基準となる資本主義の發展段階――の展開、その正確なる解剖、分折のうちに、やがて必然に、これらの多樣なる方法、樣式を學ぶであらう（十月二十日）。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞農小話

三菱王國の金庫の中には

斯んな悲慘な人間の生活が、今の世の中にあらうとは、誰れでもちよいと信じられないが、實際それが大正の御世も、世界の文明國をもつて誇る日本帝國のまんなかにあるから驚かざるを得ないではないか。

聞きたまへ。そこに安部鍋吉といつて、昨年働くのは止したが、今年七十三の老鑛夫がゐる。彼が親父につれられて初めて穴には入つたのは七歳の時だつたさうだ。もとより七つ位で仕事らしい仕事の出來ないのは當然だが、老人はいふ『その時私が貰つた賃銀は一日五文だつた。私はその五文で一文づゝの油揚げを買つて喰つた。私は油揚げがすきで…毎日よく油揚げを買つて喰つたものです。つまり私はこの油揚げが自由に買つて喰へる樂みから、七十年の長い生涯を穴の中にすいつけられたのです…』。君、鍋吉老人が七十年働いて止した時の賃銀が幾何だつたと思ふ。驚く勿れ七拾錢だよ。なに頭に一字ぬけてるんじやないかと。馬鹿いふな、彼は止す時手當として百貳拾圓——七十年間ろくに太陽の光もみないで働いた報酬百七拾圓也を貰つて涙を流して有り難たがつたものだ。

また、こんな事もあつた。或朝中村善藏(三十二歳)は、いつもの通り朝七時に仕事に出かけて行つたが、『お前は退職願を出してゐながら何しに來たんだ』といはれて追ひかへされた。これは飯場頭が氣に入らないで勝手に依願退職(手當を出さないやうに)の屆を出してゐたのであつた。そして十年間忠實に働いた中村の首代が參拾圓也である。

今一つ、吉田直一は近くの町で勞農黨の演説會があつたのを聞きに行き、歸つてみれば既に首が飛んでゐた。勞農黨の演説會に行くなんて、何を仕出かすか知れないといふのが馘首の理由なのは無論のことだが、會社は吉田を山から追つたばかりでなく、山で生れ、山で大きくなり山で老いた吉田の親父までも山から追ひ出さんとしたので、親父はとう〳〵首をくゝつて死んでしまつた。

全く會社は、人の生命なんて問題ではない。出來るだけ、搾れるだけ搾ればいゝのだ。掘工の最高賃銀が貳圓貳拾錢、最低壹圓の平均壹圓貳拾錢、支柱夫平均壹圓拾錢、坑内車夫壹圓五錢、女工參拾錢である。しかも貳圓貳拾錢稼ぐには十五時間働かねばならぬのだ。

この山に働いてゐる多くの者は土着のもので、三十年、五十年と山に生れて山で死ぬるものであるが、勤續年數の平均は二十年で、歳は三十二、賃銀はたゞの九拾錢で五人半の家族がこれに依存してゐる。で、會社では家族米と名づけて、戸主が從業員であれば滿三歳以上五歳まで一日三合、五歳以上十四歳まで四合、五十五歳以上四合を一升貳拾貳錢で賣りつけ、十四から五十五までのものには支給しない。これは明かに、女工や青少年工を働かねばならないやうに賃銀奴隷としてしばりつけると同時に、成年男工の賃銀引下げの策略である。そしてその米たるや等外米に臺灣米の混合入割に壹二割を混ぜたものである。

君、このお伽話にでも聞くやうな人間の居る處は何處だと思ふ。世界有數の金持三菱王國經營の尾去澤鑛山の今日の實狀がこれなのだ。

けれども人間は活きて行かねばならぬ。彼等にも天日は輝て來た。今彼等は立つて三菱王國と闘つてゐる。(まさいち)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本帝國主義下の植民地臺灣

陳規懷

(一)

一八九五年――即ち日本の版圖に屬するまでの臺灣は、まだ封建制度を離脱しなかつた。殊に交通不便の孤島であるが故に、産業は幼稚な家內工業に止り、主たる生活資料は皆支那より輸入して居た。當時兎も角産業中の大宗であつた製糖業や、製腦業や、製茶業は殆んど外人資本家の支配下にあつたのみならず、海上交通は、支那の大型帆船を除けば、英國ドグラス汽船會社の無人の境を行くが如き獨占の下にあつた。金融に於ては支那の資本家の投資に依る錢莊などに依つて左右されて居た。

斯る時日本は臺灣を支那より略取し、武力を以て此新領土の上に臨んだ、日本の――ブルジョアジーの――代表者たる總督府が、唯一の新使命を開拓する上に最初に當面した仕事は外國資本家を臺灣から驅逐して、日本の資本家や企業家の投資の安全を確保するにあつた。さも無くんば臺灣略取の意味を失することになる。其處で總督府は先づ何を爲したか。砂糖や、樟腦や、茶に對しては税則を制定した。樟腦の如きは、やがて政府の專賣となり、後年臺灣の税制を獨立せしめたる基礎ともなり、砂糖に對しては庶車税と砂糖税とを課したが、今日では日本の國庫收入に繰入れられたる唯一の財源――砂糖消費税の先驅ともなつた。

交通に於ては、大阪商船會社や日本郵船會社に補助金を下附して、臺灣と日本々土及び南支那との間に月二回の定期航路を開かしめ、遂に英國ドグラス汽船會社を屏息せしめた。

金融に於ては從來の銀本位を金本位に變革し、本國資本家

の投資に黄金の花を咲かせるこ同時に、臺灣人の生活を一躍して近世文明人の程度にまで引上げたのである。そして政府の補助で殖民地金融機關こして臺灣銀行を設立せしめた。更に又臺灣に日本々土と同率の輸入税を制定して、外國からの輸入品を牽制し、臺灣を新たに發展して來た日本産業の新市場ならしめた。

（二）

近世商業の發達は交通の發達に依つてトされる。蓋し交通の發達は搾取の可能を容易にするからである。故に此新市場を開拓するには、先づ交通より着手するのは當然である。而して一面には、交通の發達はやがて地方的に制限された生産や消費を開放して舊産業組織に急速な崩壊を將來せしめる。斯くして政策上に現れたものは先づ、縱貫鐵道の建設こ基隆築港とであつた。然し是等を實現せしむるには、多大の金額こ相當な期間を要するここは勿論、今までの行政費に更に一層の膨來を來さしむるここは明かな事實であつた。

臺灣の豫算には最初から一貫して、臺灣自身の收入を以て自給する方針が確立されて居た。こ云ふのは殖民地豫算の獨立は、殖民地に於ける經濟的成功の前提であるからである。從つて主なる産物に課税するの外、主なる産物——樟脳、塩、阿片、煙草等——を專賣制度に依つて販賣し、政府の財源たらしめたのである。そして年々增加する收入を以て、日本政府の補助金を漸次遞減せしめ、遂に一八九五年から一九〇八年までの豫定を一九〇三年で打切り、日本政府の補助を受けずして臺灣の豫算をば獨立せしめた。其故に、縱貫鐵道の建設や基隆築港には、臺灣で償還す可き臺灣事業公債三千五百萬圓を起債して、其に充つるここにした。

尚一方には土地調査を勵行して、地租の增收を計り、大租權を整理して舊社會に於ける農民寄生階級たる大租戶を廢し、農業制度を完全に現代化せしめたのである。

豫算の膨張は人民負擔の增大を意味する。輸出入の關税で、間接に生活費の負擔を增大せしめられたる臺灣人は、此處に於て又間接に行政費の增加、直接に諸種の税に依つて、其負擔をより多く加へらるゝここは必然であつた。試みに一八九五年(明治二十九年)度の歳出入や、地方税收支を一〇〇と假定し、過去十九年間の膨張率を示せば次表の如くである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣總督府歳出入率

年度	歳入	歳出
一八九五	一〇〇	一〇〇
一八九九	八五一	三一二
一九〇四	九七一	二一二
一九〇九	二、一一五	四二七
一九一三	二、〇三二	四九四

臺灣總督府地方收支率

年度	收入	支出
一八九七	一〇〇	一〇〇
一九〇一	五四八	六〇四
一九〇六	八七七	八九二
一九一一	一、〇五七	一、〇一三
一九一三	一、一九四	一、三二八

是に依つて、臺灣人の負擔が如何なる程度にあるかを想像し得るこ思ふ。

然し乍ら、是は當時に限つた現象ではなく、現在でも尙此傾向を增進して止まぬ狀態に置かれて居る。一九二二年に於て、日本人の歳出入豫算負擔額は人口一人に附き平均二十六圓であつたか、同年度の臺灣總督府豫算負擔額は、人口一人に附き平均二十八圓であつた。若し近世ブルジョア文明が特徵とする權利と義務とは納稅によりて左右されるこの見方よりすれば、少なくとも臺灣人は日本人こ同等の權利を享有す可きである。現んや納稅成積の日本人の其よりも好成績にあるに於てをやである。

(三)

以上の如くして、統治者は臺灣に於て、新たに勃興せる日本資本主義の爲に市場を開いた。殊に日露戰爭による日本資本主義の躍進的發展は更に其の勢を助長せしめた。是に從つて臺灣に於ける產業の發達も又促進されたこは云ふもの丶、其は日本資本主義の發展の延長か意味するこ同時に、臺灣人は臺灣の產業界から失墜する第一步であつた。

今まで何等の基礎的產業を有せぬ資本家は、如何にして唯一の武器たる莫大な資本を擁して、堂々こして臺灣に君臨するか？　或は政治的權力を通じて自己の欲望——搾取を實現せしむるか？　蓋し獨、佛、英の採用して來た殖民地產業政策は何れも後者に屬するものであつた。一九〇一年六月に發表された臺灣糖業奬勵規則を以て、總督府が樹立した搾取政策が如何にしてなされたかをもの語るこ同時に、亦臺灣への日本資本主義發展の延長であつたここを擧け得るのである。

一、甘蔗耕作の爲め官有地を開墾する者には之を貸與し、成功の後は無代償にて業主權を與ふ。

二、甘蔗二町步以上を耕作する者には、一反步に附き甘蔗苗費貳圓六拾錢、肥料代五圓を下附す。

三、千圓以上の灌漑又は排水工事を爲す者には工事費の五割以內を下附し、且其工事を施す土地が官有なれば無償

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

に貸與す。

四、官廳にて認めたる機械を以て製糖する者には、其機械代金の二割以上を下附す。

五、一日七萬五千斤以上の甘蔗を壓搾する機械で製糖し、又は一日一萬五千斤以上の粗糖を壓搾する機械を以て精製業に從事する者には補助金を下附す。

之を以て視れば、獨、佛、英のアリフカに於て執り來つた政策——殖民地の人民から唯一生活の對象たる土地を取上げて各自の資本家に與へる——と何等の相違が有らうか？ 時間と場所こそ相違はあらうが、理不盡に農民から取上げたことは、假へ外國では無償で沒收したのを、臺灣では總督府で認めた一定の價格を以てしたとは云へ、少數資本家に對する犧牲として爲されたことは同樣である。例へば三井系統の臺灣製糖株式會社、三菱系統の明治製糖株式會社、大倉系統の新高製糖株式會社、鈴木系統の東洋製糖株式會社等が廣大な土地を擁することの出來たのも此犧牲を基礎としての事である。而して今まで土地の奴隷であつた農民は、土地を失つてから賃銀勞働者に落ちざるを得なかつた。

而して此砂糖製造業の發達と共に農民が如何に搾取されたかを示すものとして、砂糖原料代と物價との比較を表示すれば次の如くである。

年期別	新式糖場平均砂糖原料代(租當)圓	年次	物價總平均指數
一九〇九—一〇	二、三八二	—	—
一九一〇—一一	二、二二三	—	—
一九一一—一二	二、五三〇	—	—
一九一二—一三	三、二〇九	—	—
一九一三—一四	二、六六二	一九一四 七月	一〇〇、〇〇
一九一四—一五	三、三六一	一九一五	一〇六、一五
一九一五—一六	三、一八二	一九一六	一二五、二三
一九一六—一七	三、二五七	一九一七	一五二、三六
一九一七—一八	三、八六一	一九一八	一九五、八八
一九一八—一九	五、一四六	一九一九	二二二、六七
一九一九—二〇	八、二八九	一九二〇	二五七、四一
一九二〇—二一	七、〇八八	一九二一	一九九、七七
一九二一—二二	五、八四四	一九二二	二〇〇、二九
一九二二—二三	五、五二二	一九二三	一九三、一八

即ち一九一三——一四年の平均砂糖原料代は貳圓六拾六錢貳厘であつたが、九年後の一九二二——二三年には約倍以上の五圓五拾貳錢壹厘であつた。物價の方では、一九一四年七月の指數を一〇〇とすれば同じく九年後の一九二三年には漸く約倍數に達する一九三、一八であつた。此等の數字を更に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

比較對照すれば、庶作農民が加何に苛酷に搾取されて居たかを窺知し得る。と云ふのは彼等は此原料代から生產費を搾除した餘剩を以て生活を支へて居たからである。

(四)

斯くして經濟政策は資本主義に適應する社會を實現せしめた。一九〇八年に於いて縱貫鐵道の竣工すると共に、臺灣に於ける凡らゆる產業は俄かに長足の發展を爲し是を分水嶺として一新時代を劃したのである。そして土地の功用は最早其影を沒し、株に其地位を讓らねばならなかつた。次表の如く事業會社と資本金額の膨脹する趨勢を視ても、當時產業界の如何に活潑であつたかを想像し得る。そして凡らゆる產業は此刺戟を受け、急速に衙體を改めざるを得なかつた。

年次	會社數	資本金	拂込資本金
一九〇八年	四四	三七、一六七、七五〇	二〇、四九、一三五
一九一二年	一〇七	一三五、八九一、六五〇	六四、三四九、六六七
一九一七年	一八六	一四八、七四七、七七七	一〇五、八五〇、一二七
一九二二年	四七九	六一九、五四八、八五六	三四九、一六九、六八〇
一九二三年	五八五	六一九、六八七、三三二	三三八、四七一、六五四

備考　一九二四年十月二十五日臺南新報揭載、臺灣總督府財務局長阿部滂の「本島財界二十五ケ年の推移を記す」に據る。

そして生活資料の重要品たる米の相場を見ると、一八九六年領臺當時に於て、白米一石の相場が參圓內外であつたものが、次表の如く領臺六年後の一九〇二年に於ける玄米一石の相場は倍以上に昂騰して居た。けれども、其には玄米と白米との差別があるのみならず、前者の一石の斤數は百四十斤、後者の一石の斤數は百五十斤を以て計算されて居た。一九一八年大戰當時は九倍に昂騰して居たのを見ると一般民衆の生活苦の如何に甚しきかを想像し得る。

年次	一石價格	年次	一石價格
一九〇二年	七、一七	一九二〇年	二二、五一
一九〇七年	一〇、九七	一九二一年	一七、七一
一九一二年	一三、九九	一九二二年	一四、八〇
一九一七年	一三、四〇	一九二三年	一七、六二
一九一九年	二六、八六		

備考　臺灣總督府殖產局表「臺灣農業年報」による。

翻つて臺灣占領當時の日本を視れば、內國消費生產から輸出品生產に轉換する時であつた。そして國際資本主義と同樣に支那に於て新市場を開拓せねば、到底その發展を維持することが出來ぬ程、世界の凡らゆる未開地や半開地は既に各先進國に依つて、其範圍を區劃されて居た。其れは日本に於て資本主義の發展が、英佛の如き正當な狀態に於て、其の生長

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

を遂げたのではなく、寧ろ獨逸の如き他の數世紀の發展を僅か數十年の間に於てなしたのと彷彿するものがあつた。然るに歐洲に於ける當時の資本主義の發展は、最早資本主義の最後である帝國主義時代に到達して居た。或は到達せんとするものがあつた。其れ故に經濟の躍進的發展は自然に政治に反映されて、自ら積極的に進歩的政策を取らざるを得なかつた。從つて各殖民地に於ける經濟政策の差異は即ち、各支配國に於ける經濟的發展の如何に對應するものであると同樣に、臺灣に於ける殖民政策の變遷は、日本に於ける經濟的發展の段階に反映されたるものたるを免れない。即ち臺灣に於ける殖民政策は西班牙や、葡萄牙や、和蘭諸國の採用したものと全然異つた形成を有するは勿論、英國、佛國、米國乃至は獨逸の其とは又異なる所がある。と云ふのは前に述べた通り日本に於ける經濟的發展は、他の數世紀の發展を僅々數十年間の中に於て爲し遂げて來たのであるから、截然として先進國の經過した過程を明確に辿つては行かれないからである。そして各國の其れと比較して、現實に於て、臺灣に於て行つた殖民政策の進歩的に見えるのは何等不思議ではないと云はねばならぬ。また殖民地に於ける政治運動が、一面に於て非常に進歩的に現はれて居るが、他面に於て毫も進まぬのは、畢竟するに、以上に述べた經濟的現象の結果であると云ひ得る。

(五)

臺灣に於ける經濟界の黄金時代は、僅か日露戰爭前後の各數ヶ年間であつた。就中一九一〇年の如き租税收入に於て千七拾五萬圓の增加を看ても當時の狀態を想像し得る。日本政府は此現象に直ぐ食指を動かし、其異常な增收の財源である關税を、關税統一の名義を以て中央政府に移管した、續いて砂糖消費税をも續いて移管した。換言すれば、財源移管」と云ふ一語は最も好く、當時の對殖民地經濟政策を表現して居ると云はねばならぬ。と云ふのは、殖民地で得た收入を以て、殖民地で使用させないで本國々庫の收入に繰入れるからである。

臺灣に於て產業の發達は、交通の發達と相待つて漸次發達して行つたことは前節に述べた。けれども是は臺灣の產業自身がとかく發展して行くのではなくて、日本に於ける資本主義の發展に影響されて、其れに對應した發展を多分其の中に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

含んで居る。其れを表現したものは基隆築港の次に起つた、高港築港問題であるこ云つて好い。其れを以て縱貫鐵道の竣工に伴はれて發達しかけた臺灣産業の結果であるこ見るよりも、日本に於ける商工資本主義の發達が最早、南支那へより廣く新販路を開拓せねばならぬ狀態に歸するこ見る方が至當である。換言すれば、臺灣だけに於ける消費は既に日本の資本主義に滿足を與へなかつたからである。そして當時所謂日本の國策上に現れた新現象は、即ち從來の「北進論」を「南進論」に變へ、殖民地こしての臺灣を日本資本主義の前衞地帶——「踏石」——こするこ云ふ說に其の根據を與へたのである。續いて南洋に對する「經濟施設」の出現は、一面には支那に於て、歐米の資本主義こ激烈なる角逐に奔命しつゝある日本の資本主義が南洋に於て勝を制するが爲めであつた。他面に於ては、歐洲大戰に促されて、臺灣に、特に支那に於て、其の土地の小商工資本の勃興によりて受けた打擊を南洋に於て取り返さんが爲であつた。「經濟施設」こは近世資本主義の發達に依つて發見された、平和な侵略主義の足溜りであつた。「經濟施設」の成功、不成功が直ちに、其の地方に於ける資本主義的侵略の成功こ不成功こを決定する程、現在の資本主義の海外發展に取つて重要な條件こなつて居る。

(六)

而して此經濟現象に反映された一切の政治上の諸問題は、自ら舊態を一新せねばならぬ狀態にあつた。敎育の如きに於ては、從來の文盲主義を自ら撤廢して開放主義を取り、少なくこも統治者本位を被統治者本位を裝ひ、資本主義の前衞地帶に活動する人物こ、安賃銀の勞働者の洪水を管理する中間人物を養成しなければならなかつた。現在臺灣に於て、專門敎育機關の簇出に續いて臺灣大學の建設に努力して居るのは一層此感を深くせざるを得ない。何故ならば臺灣大學の建設は臺灣文化の文化を象徵するものであるこ云はれて居るけれごも、事實是はブルジョア文化の象徵であつて、一般無產者こは何の係りもないからである。一般無產者に於ては、初等敎育でさへ就學兒童をば全部收容するここが出來ぬ狀態であるにも拘らず、專門敎育機關を增設するからである。まして初等敎育を、臺灣人に所謂一視同仁や共存共榮に基いて開放したこ云つて、溫情を賣附けられても、「國語を常用するもの」ゝ條件で取返されて居るに於てをやである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

（七）

經濟に於ては、先述の通り日本資本主義の發達は輸出品工業に於ける資本主義が漸く實現した頃には、國際資本主義は既に資本を輸出する帝國主義時代に入つて居た。是と同樣に臺灣に於ける產業の發達は、此國際的現象に影響されて、早くも帝國主義的現象を呈する日本資本主義の發達に促されて、全然金融業者に制肘されて居ることは必然の事實であると言はなければならぬ。臺灣に於ける重要產物たる米、砂糖、茶、樟腦、金塊、酒精、石炭に對する各銀行の放資額を左表に就いて見れば直ちに是を了解することが出來る。

年次	資本總額	拂込金	純益金	配當金
一九一八年	圓 三五、〇〇〇、〇〇〇	圓 二八、〇一四、八七〇	圓 四、一九七、九一九	圓 二、三九〇、六五〇
一九一九年	八三、七五〇、〇〇〇	四九、六四九、九五〇	六、七四四、八七八	三、四八五、七〇五
一九二〇年	九二、五〇〇、〇〇〇	六四、八〇二、五〇〇	一二、二六七、三二三	六、〇四〇、一〇〇
一九二一年	九二、五〇〇、〇〇〇	六四、八三七、五〇〇	一〇、一九九、九四四	六、一三三、七五〇
一九二二年	九三、五〇〇、〇〇〇	七二、五七五、九二五	七、六五三、一〇六	五、八三八、三七五
一九二三年	一一五、八一一、〇三一	九四、八九八、五三一	八、〇七三、四九七	四、九七〇、三七五

備考　臺灣總督府第二十七統計書に據る。

年次	金額	年次	金額
一九〇八年	圓 二四、七三四、九六一	一九二〇年	圓 六六二、一九〇、五三〇
一九一二年	一三、八三三、九二六	一九二一年	六三八、〇四五、四三二
一九一七年	三一、一二一、一三九	一九二二年	四四八、二二六、〇〇五
一九一八年	三三、九九七、九〇七	一九二三年	三七一、八四三、八九八
一九一九年	四九八、一四五、二二五		

註、全上に據る。

更に右の放資額が各銀行の資本總額の幾倍に相當することや、一九一八年よりの躍進的な增資と、驚く可き多大の純益は、歐洲大戰中の好況時代を戰後の恐慌時代と引換へ、ある意味に於て南支南洋への經濟的施設に、此增大した金融の發展を先驅したものであると見做して好い。最近に擡頭して來た「對支文化施設」と共に、此意味に於て日本に於ける資本主義の苦惱を表現したものであると見做して好い。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

然るに工業は凡ゆる産業に於ける重要なる地位を構成するものである。左表は工業發達の趨勢を云すのみならず、又一面には臺灣に於ける諸産業發達の趨勢を鳥瞰し得るこ思ふ。

臺灣に於ける諸産業發達の趨勢(産額)

年次	農業	工業	商業	交通業	水産業	鑛業
一九一二年	一、〇七二、〇〇〇	一〇三、六二三、八〇〇	一八、五二四、四〇〇	一、〇五六、〇〇〇	一、八六六、四五〇	七五、〇〇〇
一九一七年	二、〇三三、〇〇〇	一〇七、九八七、二七五	三一、二八四、〇〇三	二、一七五、〇〇〇	一、八六二、五〇〇	三、四〇六、〇〇〇
一九一八年	一、三五一、八〇〇	一三八、〇七八、二七五	四六、八九八、六五三	三、二七六、〇〇〇	一、八六九、五〇〇	一三、〇七六、〇〇〇
一九一九年	一六、七三五、〇〇〇	二一八、二四〇、〇〇〇	一一四、五〇一、一五二	七、八〇〇、五〇〇	三、八〇九、五〇〇	一九、一七六、〇〇〇
一九二〇年	一九、二九八、〇〇〇	三四一、二三三、七五〇	一四一、一九七、七〇六	九、五七三、五〇〇	六、〇六四、五〇〇	三二、九三六、〇〇〇
一九二一年	一七、八四四、〇〇〇	三四一、〇九一、二五〇	一五四、五四七、二〇六	一〇、〇八一、〇〇〇	五、四六四、五〇〇	三四、四五六、〇〇〇
一九二二年	二七、七四九、〇〇〇	三五九、七二〇、二五〇	一七〇、〇七九、六〇八	一〇、九〇〇、五〇〇	五、七二九、五〇〇	三五、三八〇、〇〇〇
一九二三年	三三、六二九、三九二	三五四、五一五、五三五	一七六、八四九、九三一	一一、二六二、五〇〇	五、八三九、〇〇〇	三九、四九〇、〇〇〇

備考　第三次臺灣商工統計に依る。

(八)

斯くして産業が發達して行く一方には、都市に於ては年々賃銀勞働者を、農村に於ては著しく小作人を增加しつゝある勞働者の增加、殊に幼年職工や女工の增加小作人の增加は云ふまでも無く搾取の苛酷こ一般の生活難を證明して居るのではあるまいか。試みに各工場に於て直接作業に從事する男女職工の增加人員を第三次臺灣商工統計より摘錄し、そして、臺灣農業年報(十二年度)より總人口に對する農業人口の割合を左に表示して、其一班を窺はんこする。

直接作業に從事する男女職工數

年次	十二歲未滿		十二歲以上十五歲未滿		十五歲以上二十歲未滿		二十歲以上	
	男	女	男	女	男	女	男	女
一九〇二年	六七	四七一	八〇二	一、七六六	四、四九九	三、四七二	三四、二〇八	五、八三三

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九二一年	五七	三三一	五五〇	一、六〇三	三、五三一	三、二六六	二八、二二八	五、二三一
一九二二年	一七四	四四六	四九九	一、二三一	三、四六六	三、三〇二	二六、八六二	五、四一一

總人口に對する農業人口の割合

年次	總人口	農業人口 自作	自作兼小作	小作	計
一九一〇年	三、二九九、四九二	七〇三、五三七	四九〇、七九〇	八九二、六二八	二、〇八六、九五五
一九一三年	三、五〇三、一七三	七一一、六四五	五七二、〇九九	九一五、七二四	二、一九九、四六八
一九一六年	三、五九六、一〇九	七一三、四七八	六〇一、一〇〇	九六五、八〇三	二、二七九、三四一
一九一九年	三、七〇三、一八〇	七三〇、二九〇	六四三、〇一三	九二三、七三三	二、二九七、〇三五
一九二一年	三、七五一、三七〇	七〇七、九五四	六四二、九八二	八五五、七四一	二、二〇六、六七七
一九二二年	三、八〇七、八九八	六九五、七二九	六五一、六五三	八七二、九二一	二、二二〇、三〇三
一九二三年	三、九二〇、〇一八	六八一、〇〇三	六七九、九六一	九〇二、三二八	二、二六三、二九二

而して資本は集中され、小資本家は次第に存立の地位を失つて來る。若し臺灣に於ける株式會社を資本金額に依つて分類すれば、其の集中の急速なるに一驚を喫するに違ひない。

年次	株式會社數 千萬圓以上	同上 百萬圓以上	同上 五十萬圓以上	同上 三十萬圓以上	同上 十萬圓以上	同上 十萬圓以下	同上 十萬圓以上
一九二一年	—	九六	五〇	三七	四九	六五	二四
一九二三年	一四	八四	五四	三四	一二五	七六	三七

然し乍ら、日本に於ては歐洲戰後の國際的恐慌圏帶より遊離することが出來ないと同様に、臺灣に於ては日本本土の經濟的恐慌より遊離することは勿論出來ない。從つて此恐慌時代に處したる臺灣に於ては、海外に於て新市場を開拓すると同時に、生産費を低下せしめることも、此困難を打開する一方法であらう。換言すれば現在の不景氣を切り抜けて以前の好況時代を恢復せんとする努力である。前者を表現したるものは海防航路開設で、後者を表現するものは水力電氣事業である、然し此現象は臺灣に限らず世界を擧げて努力しつゝある所である。例へば航海業の如き、新三者の兩三者に對する臺灣航路への割込や、粗製糖業と精糖業との砂糖消費税に對する改正の請願等が明かに、資本主義陣營内に於ける一の内亂——自己挑戰である。同じく日本國内に於ける事實から推測すれば、其渦卷の如何に擴大されて居るかを想像し得るの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ではあるまいか。そして是を政治的に緩和せしめむとする策としては、近來頻りに唱導されて居る「殖民地行政機關統一論」として現はれて居る。然るにも拘らず産業に於ては、芭蕉の販路が擴張されると共に、農業に於ては米作の在來種を内地種に換へて、其增收に努めた結果、經濟界に於ては多少活氣ある現象を呈して居る。が然し、是を以て直ちに不景氣の時代は過ぎ去つたと即斷するならば同意することは出來ぬ。成程、幾何か景氣が立直つたことは確かである。併し其は外觀のみである。何故ならば、現在に於てさへ、小銀行を合併した上に、又臺灣銀行を始め各銀行が、三分の一か甚しきは二分の一の減資を斷行せねば銀行自身でも立行かぬからである。

（九）

そして此搾取制度の下に醞釀されて來た經濟上、社會上、政治上の不均衡が、此不景氣の深刻化によりて、臺灣議會請願問題、芭蕉自由輸出問題、竹林問題乃至は最近惹起された林糖の庶作爭議を發生せしめたのである。其處で從來日本人の企業家實業家によりて組織されたる各地の實業協會は、「此際日本人としての民族的障壁を自ら解放し」、最も厭ふ可き臺灣人の企業家、實業家の加入を「歡迎」し、「相互の利害關係を隔意なき疎通の下に共通せしめる」の已むなきに到つた。現に伊澤前臺灣總督の地方官に對する「有名な」訓示に、「本島人多くは默々として所思を語らず、故に政治行政の衝に當る者は須らく無聲に聽き、無形に見るの決心を抱持して本島全住民の福利を增進することを要する」との一句の有無に拘らず、又臺灣の政治は三百六十餘萬の臺灣人を對象とせねばならぬとの聲明に對して、臺灣在住の日本人は非難をあびせたことの有無にも拘らず、歐洲大戰に促されて新興して來た臺灣人の商工階級の勢力を無視して行くことが出來なくなつたことは事實である。

と同時に臺灣を代表する者は彼等のみでないことは、前に述べた經濟的分拆で明瞭であらう。即ち彼等の背後には、近來種々なる政治運動に依て覺醒したる、殊に根本的には其生存上の境遇に依つて將に一大勢力として現はれんとする臺灣の一般無產民衆が存在する。吾人は彼等の政治運動の勃興は何を語るか。近來種なる政治運動乃至彼等を含めたる全臺灣の政治運動に關しては他日稿を更めて語るであらう。

後記、この論文は編輯者が陳氏の長文の論文から適當に縮めて發表するものであることをことはつて置く。（一九二六、一〇、九）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

國內戰線

東京市從業員大會

東京市從業員十五年度定期大會は十月一日、芝公園協調會館で開かれた。代議員二百餘名、傍聽者四百名の多きに達し、非常な盛會を呈した。本部報告の後左記議案の討議に移つた。

一、宣言
二、規約改正の件
三、勞働農民黨支持に關する件
四、八時間勞働制要求の件
五、宣傳組織に關する件
六、作業服支給に關する件
七、公會設置及貸與に關する件
八、木炭支給要求の件
九、取締組長公選を要求する件
十、休息時間延長の件
十一、本部建設調査會設置の件
十二、總聯合を前提としての同一主張の組合と提携又は聯合の件
十三、靑年鬪士會充實に關する件
十四、請負制度全廢に關する件
十五、人夫請負ブローカー排擊の件
十六、作業上の參與權獲得に關する件
十七、消費組合に關する調査委員會設置の件

これだけの議案が、熱心に、眞面目に靜肅に討議されたのは氣持ちがよかつた。右議案の中、說明、質問、討論があつて、初めてさうかと知るやうなものが可なり澤山あつたが、六、七、八、九、十等がそれで、これ等が從業員諸君の如何に切實なる要求であるかを知ることが出來た。けれども、何をいつても僕等の最も注意を引いたのは三の勞農黨支持に關する件及び、十二の總聯合を前提としての同一主張の組合との提携又は聯合の件の二であつた。勞農黨第三回中央委員會の門戶閉鎖、組合總聯合評議會の決裂等、わが無產階級陣營內部の混亂と不統一とを痛感してゐるこの際、以上の二議案が可決されたのは意を强くするに足りる。それから殊に僕等が感じたことは、他組合の大會に於ける代議員が、殆ど全部靑年鬪士によつて構成されるのに比し、この組合大會の代議員諸君が、靑年は極少數であつた。多くは中年以上の鬪士に滿たされてゐたことであつた。第一議案の宣言は左記の通り

十五年度大會宣言

今や我が國の勞働運動は、其の全歷史を通じて、最も重大なる階梯を通過しつゝある。卽ち外部にあつては、資本主義其のものゝ絕えざる不安と、從つて、其の不安を如何にもして打開せんとする必死的なる努力、及び、內部的には、勞働階級陣營內の急激なる分解作用の進展、及び理論的、意識的なる階級內の分派の對立是れである。斯の如き勞働運動全體の發展は、年若き吾が東京市從業員組合にも、異常なる作用を及ぼした。卽ち一方に於ては、近々一ケ年以內に組合員數は殆ど三倍以上にも及び、而かも今尙、其の組織運動は急速なる步調を以て進みつゝある。他方、組合員自身の內部的向上、卽ち組合員の敎育方面に於ても、團體的訓練に於ても、殆ど一年以前と面目を新にせるかの如き觀を呈するに到つた。

斯くて、吾が國全體の勞働運動が、重用なる一階梯に進入せると共に、吾が東京市

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

従業員組合も、其の重大なる發展階段に一歩を踏み入れたものと云はなければならぬ。是れ、吾等が茲に特に宣言を發して、全勞働運動の當面せる問題及び是れに對する吾が組合の任務に就て、吾等の立場を公にする所以である。

第一、吾が組合の當面せる重要なる内部問題の一つは、敎育運動をよく一層盛にすることである。吾が國の勞働運動は、前述の如く非常なる速度を以て進歩しつゝある。從つて、昨日の現實は已に今日の現實ではない。此の進歩に添うて、其の陣列に伍して進む爲には、吾等は組合の敎育運動によつて、絶えず組合自身を向上せしめなければならない。

第二、勞働運動の急速なる發展につれて、資本家階級は、亦其れと相比例して其の力を増大せんと試みて居る。其の爲には、資本家はあらゆる方法に於て、其の力を組織し、統制しつゝある。斯の如き社會の現情に當面せる勞働階級は、全體として組織され、統制されなければならない。是れ吾等の過去に於て高唱せる全國組合總聯合の必要なる所以である。吾々は此の問題が、もはや一刻も等閑に附すべからざる急問題たるを痛感するものである。故に吾等は如何なる困難を排しても、全國總聯合の達成に邁進するであらう。

第三、現在の資本家的經濟支配の下に於ては、勞働階級は生產者としての搾取以外に、消費者としての搾取をほしいまゝにされて居る。生產者としての搾取に對抗する勞働組合以外に、勞働階級は消費者としての搾取に對抗する有力なる武器たる消費組合を有たねばならぬ。此の意味に於て、吾が組合は、本大會の具體的決議に基き、消費組合運動に向つて全力を傾注するであらう。

第四、勞働農民黨に對する問題は、我國無產階級運動に於ける刻下の最大問題の一つである。然して吾等の是れに對する見解及立場に就いては、已に是迄の實際行動に明らかである。然して、此の無產階級唯一の政黨の擁護と健全なる發達の爲に我々は今後も尚一段の努力を盡すであらう。

是れを要するに、吾々の立場は、吾が組合創立の宣言にある通り、常に組合自身の力と、敵の陣營の現狀に則して、一路解放への途を進むにある。吾々は徒らに左或は右と顧みることをしないであらう。吾々はたゞ無意味なる革命病を排すると共に、誤謬と錯亂に滿ちたる所謂『現實』に則したる運動をも徹底的に排撃せんとするものである。我等の進路それは全人類解放へのたゞ一途あるのみである。(S・H生)

官業勞働共濟組合對策協議會開かる

各官營工場に於ける共濟組合の改革を目指して、官業、總同盟・淀橋烟草、東京官業等、十五團體三十六名の委員が、去る二十四五兩日、中舞鶴公會堂に共濟組合對策を協議した。

その主要なる要求は、1共濟組合に對する政府の補助金率の引上げ、2共濟組合の法人化3健康保險法實施後、共濟組合に代行する場合掛金を增徴せざることとであつたけれ共、この會合は、八月下旬開催が豫定されて居た頃から、早くも、右翼組合の結成一大として一般の注目を惹いて居たものであつた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

決議事項

一、共濟組合ノ管理ニ組合員ヲ參與セシムル目的ヲ以テ法人トスルコト
二、脫退給付金拂戾ノ原則ヲ確立スルコト
三、健康保險法ヲ共濟組合ニ於テ代行スル場合組合員ヨリ掛金ヲ徵收セザルコト
四、政府ハ共濟組合ニ對シ組合員ノ掛金ト同額ノ補助金ヲ支出スルタメ現在ノ勅令ヲ改正スルコト
五、健康保險法第七十條ノ規定ニ準ジ國庫負擔金ニ相當スル額ヲ支出スルコト

聲明書

我等五十萬の官業勞働者が多年吾等の相互扶助機關たる共濟組合の根本的改造を絕叫して來たのは、その組織の內容に於て法律上の人格を缺如せるため近代稀に見る封建專制のものであるは、言ふ迄もないが、甚だしきに至つては組合資金の過半數以上を吾等が負擔し居るに拘らず吾等をして一切の機關の圈外に立たしめ組合員の意志が毫も認められて居ないと言ふことは、吾等が絕對に首肯し能はざるところである。玆に於て吾等は吾等の戰術を最も有効ならしむるため、必然的に共同の利害の上に全官業勞働組合が一齊に起て、その所信斷行のため敢然として此處に協議會を開き、吾等の意圖を決議し、敢て當事者の三省を促す所以である。

生れ出たる日本農民黨の正體

勳一等從二位子爵後藤新平を、總理の第一候補者とせる日本農民黨の結黨式が、十月十七日東京芝公園協調會館に於て開かれた。出席者は

九州、四國、近畿、東海、甲信、關東、北海道、新潟、東北、北陸の各同盟から選出された代議員無慮四百四十八名。見渡した處殆ど中年以上の者ばかりで、中にはフロツク姿の紳士樣もあり、傍聽席にも赤リボン黨員で占められ、何だかおのぼりさんの會合のやうで、容易に見ることの出來ない發會式であつた。

まづ平野日本農民組合同盟主事の開會の辭に始まり、農民歌の合唱があり、型の如く議長副議長の推薦があつて議事に入つた。この日の最も出色の出來事は、勞農黨の中央委員である總同盟の齋藤健一君の祝辭であつた。曰く『健實なる農民主義と、健實なる勞働主義とは、相提携して共產黨を打ち破る必要がある』と、滿場の拍手をかち得たのであつた。一方勞農黨に於て一部農民運動者の間に農民のみの政黨組織に反對してゐる今日、總同盟が勞働農民黨に對して、如何なる態度をもつてゐるかゞ想像される。

次いで、宣言、綱領、規約の審議に入つたが、何等の異論もなく議長自らの『皆様の滿場一致の御贊成を得たことを感謝します』との言で、一瀉千里僅數分間で議了されてしまつた。

抑も、日本農民黨とは如何なるものであるか。彼等は本年三月日本農民組合から脫退した平野一派の日本農民組合同盟を中心とする野心家の野合である。それは綱領にもある如く、國本主義と產業立國を立看板とし、階級的政黨といふよりは全くの職業的政黨である。これでは既成政黨と何の選ぶところがあるか、野心家の日本農民黨は、早晚ブルジョア黨と野合するであらうことは火をみるよりも明かである。かゝる政黨の存在を許すはわが勞農界の一大恥辱である。參考の爲めに彼等の宣言、綱領等をかゝぐれば、

宣言

三千年日本歷史に光彩を放つべく日本農民黨は生れ、陰慘なりし我農民史は今や榮光赤ようたる第一步を大地の上に力强く印した。回顧すれば久しき封建時代を通して我等の祖先は暴虐なる壓制に堪へかね、時に一揆暴動を起したが結局は默々營々として可憐誅求に忍從せねばならなかつた。四民平等を標榜せる明治の

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

改革も遂にこの悲慘なる阻害を覆すことは出來なかつた。併しながら我等はこの久しい苦難の間に困苦缺乏と闘ひつゝ團結的實力を得たのである。しかしてこの力こそ普通選擧實施を機會として、今や政治的に一大革新の機運を作興したのである。

けだし政治の要件は國民生活の安定にある。然るに國民の大多數を占むる我等は經濟的にも精神的にも安定を缺ぎ、貧富の懸隔益々甚だしくして、勤働するものその堵に安んぜざる現狀である。然して此の事實は全世界共通の悩みにして、これが解決のため社會改造の諸種の理論と行動はそれ〳〵特殊事情に應じて生れた。然して我日本は過去三千年の傳統を持し、世界諸民族興亡の跡をふかんしつゝ日本人たるの正しき誇りを持つて、東亞の一隅天惠少なき自然の中に農を立國の大本とし、大多數の農民を擁して發展し來つたのである。こゝに我等は日本の國情に照して日本農民黨發生の必然とこの發展の妥當性とをみるのである。

翻つて日本の政界をみるに、現實的政治勢力を掌握する既成政黨は一部特權階級の利害のみを代表し、ことごとく國民多數の信望を全然失墜するに至つた。一方新舊階級の興望を負ふて起てりと稱せらるゝ勞働農民黨は偏激なる直譯的共產黨的色彩濃厚にしてこれまた大衆の信頼をかち得るに足らず、一千萬民衆は新たなる參政權を擁して實に歸するに迷はざるを得ぬのである。かくの如くんば國家國民の前途誠に深憂すべきである。

この混迷の間に我等は一大抱負と經綸を提げて日本農民黨の旗を擧げたのである。眞に國を愛し國民の前途を憂ふるものは來つて我等が宿昔より遂げ得ざりし理想を行はんが爲め、我日本農民黨の綱領政策の實現に協力すべきを確信する。連綿三千年默々として培ひ來りし我等の日本を甦生伸展せしむべく我等は今こそ小異を捨てゝ大同につき、一切の障害を排して行詰まれる我政局を打開し、正義の支配する新社會の建設の爲めに全力を傾注して猛進することを誓ふ。

綱　領

我等は人類の平和幸福を目標とし天地の公道に則り、世界の大勢に順應して合理的新社會の建設を期しもつて次の諸項を遂行す。

一、社會正義の實現
　我等は特權階級による政治的支配を排除し全勤働階級共同の理想たる社會的正義の實現を期す
二、日本國本の振起
　我等は智識を世界に求めて純眞なる我が國本を振起し、日本民族の繁榮と日本文化の發達を計り、もつて世界文化の向上に貢獻せんことを期す
三、議會政治の改革
　我等は議會政策に即して一切の不合理不自然なる制度組織習慣を排し合理的新日本の建設を期す
四、產業國策の確立
　我等は特異なる國本國情の現實に立脚して產業の振興分配の公平を計りもつて國民生活の安定並に向上に力む
五、農村文化の樹立
　我等は都會中心の不健全なる文化を否定し健實なる地方的文化の完成を期す

政　策

一、政治(一)普通選擧の徹底(二)貴族院の改革(三)無產階級取締に關する諸法令の改廢(四)國際軍備の整理(五)兵役義務者の給與增額及待遇改善(六)一般並に地方行政費、行政事務、行政區劃の整理と自治制度の改革(七)國民外交の確立(八)移民政策の確立(九)財產税の高率累進賦課と關税及消費税の改廢等の税制の根本的改革(十)恩給制度の改正
二、經濟(一)耕作權の確立(二)土地制度の改革(三)產業振興策の確立並にわが天然資源開發と生產力增進のための體系的國立調査所研究機關の設立(四)重用農產物專賣制實施(五)農村金融機關の改善及擴張(六)肥料の國營(七)農業

保護施設の國家的經營(八)團結權罷業權團體契約權の確立(九)少年婦人勞働の保護制度(十)工場法の改善及最低賃銀制度の實施 (十一) 水力電氣の國營(十二)交通機關の整理並に地方普及

三、社會(一)教育制度の改善(二)義務教育費國庫負擔(三)國民保健の徹底(四)病院醫藥の國營(五)生命養老災害失業疾病保險の國營(六)女子人身賣買の禁止(七)農村文化施設の普及

規約要項

一、名稱　日本農民黨

一、機關　大會及中央委員會、大會は黨の最高機關にして總理、總務委員、大會代議員、幹事長、幹事、會計、中央委員をもつて構成する。

中央委員會は黨の最高執行機關にして總理、總務委員、中央委員、幹事長、會計をもつて構成す。

(一)役員　總理、總務委員、幹事長、幹事、會計監督、中央委員、各部長顧問

一、黨費　一名一ケ年金拾錢

(一木生)

關西民衆黨の發會

來議會解散の豫想、勞働農民黨の不活動所謂左翼の進出等々は、ペチブル、既成政黨の落武者、勞農組合野心家に政黨組織を急がせた。

十月十七日、このよき日を選んで東には日本農民黨の發會があり、西には勞働組合純向上會を中心とする八木信一一派の關西民衆黨の結黨式が大阪中之島公園中央公會堂に於て擧行された。宣言、綱領を議し、役員には

執行委員長八木信一　書記長二川政行會計中川鐵之助　執行委員十六名を選び、久留弘三、今井嘉幸、日野國民の祝辭演說があつた。

綱　領

一、我等は國民生活を基礎としたる社會政策の徹底を期す

二、我等は國體の精華を發揚すべく議會の根本的廓清を期す

三、我等は階級鬪爭を助長する現行制度の合理的改革を期す

主　張

一、普通選擧制度の擴充

二、大選擧區比例代表制度の實施

三、言論及び集會の自由を抑壓する諸法規の改廢

四、財産並に不勞利得に對する高率累進稅の賦課

五、生活必要品に對する消費稅の改廢

六、團結權、團體契約權、罷業權の確立

七、八時間勞働制の確立

八、最低賃銀の確立

九、少年及び婦人の夜間勞働及び危險作業の禁止

十、工場法その他勞働者保護を目的とする諸法令の改正

十一、義務教育費及び職業教育費の國庫支辨

十二、失業、養老、災害、疾病保險制度の擴充及び制定

十三、居住權の確立

十四、植民地制度の合理的改革

十五、國民外交の確立

(大阪、田中)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

英國總罷業の後

ロゾフスキー

一、沒落しつゝある英國の資本主義

今度の罷業は、ブルジョアジーが勞働者階級の上に絶えず加へてきた壓迫に對する應答であつた。領袖たちは罷業を欲しなかつたが、しかし勞働者大衆の間には、鑛山勞働者に對する攻撃を全勞働者階級に對する攻撃と見做すべきであるといふ意識が盛んであつた――そしてその意識は正しい。從つて大衆の一致協力したあのやうな行動が實行され、從つて鬪爭せんとする希望が、直接罷業に從事しなかつた勞働者の側にまで惹起されたのである。併し乍ら、英國のブルジョアジーの此の突撃は、斷じて英國資本主義の强みの顯はれと見らるべきではない。といふのは、英國の資本主義は日と共に益々衰退しつゝあつて、最早、合衆國の資本主義との競爭に堪へられなくなつてゐるからである。詳しく云へば、その技術が退歩して、大戰前の市場を取り返すことができず、それに自國の版圖並びに植民地に於ける大多數の市場を失つてしまつたがためである。そして之等の版圖や植民地では、一方に土著の產業が發達し、他方に於ては、外國の競爭が感ぜられてきた。正しくかう云ふ理由のために勞働者階級の生活標準をひき下げて、「自國の」プロレタリアートをヨーロッパ中で最も給料の低い勞働者と同じ地位に置かんとする突撃と努力とは、英國資本主義の弱さを示す表徴なのである。生產を再組織し、技術を改善し、行政を集中する等々の代りに、英國の資本主義は勞働者階級に對する突撃を決心したが、その態

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

度は、否でも應でも、坑夫勞働者ばかりでなく、勞働者階級全體とこの衝突を誘致せずには置かなかつた。

英國のブルジョアジーは、勞働組合の內部に於ける彼等の代辯者の助を藉りて、勞働者階級に對しかくも容易なる勝利をかち得て、總罷業をかくも容易に破壞し去つたのだが、さて英國の資本主義は今後尙ほ引きつゞき向上の道を辿るだらうか？　この勝利そのものが既に英國資本主義の不拔の勢力を示す一證左ではないか？　そしてこの勝利は、とにかく總罷業に打つ勝つたのだから、更に其他のあらゆる困難の克服をも保證するものではないか？　否、斷じて然らず。罷業の結着の後を見るに、それは英國の資本主義が自己の安定を得んとする鬪爭中に演ぜられた挿話の一つとしか考へられぬ。このことから、總罷業の敗北以後、資本主義が向上の線に沿ふて發達し初めるだらうと結論するのは、斷じて事物の眞の狀勢に一致してゐない見解である。

英國は深刻化した社會的軋轢の領野に這入り込んだのだ。ブルジョアジーの突撃は、優秀な組織を持つ勞働者階級の手嚴しい抵抗に出會ふてゐる。勞働者階級の最初の敗北は、まだその最後の敗北だとは云へぬ。そしてブルジョアジーの最初の勝利は、まだその最後の勝利ではない。かゝる軋轢を招來した對立のすべては、この敗北に依つて除去されないばかりか、尙ほ一層それを銳くしたにすぎぬ。結び目は尙ほ一層甚しく縺れてきた。それ故に、英國のブルジョア機關紙が凱歌をあげて、英國の資本主義はその最も困難なる時期を凌駕し、今や平坦なる道に出でゝ、今後再び大戰前の軌道を歩み出すだらうと主張するにも拘らず、罷業の敗北を見ただけでそんなことの云へるものではない。かゝる主張は、英國資本主義と合衆國資本主義との間の勢力關係に關する一切の客觀的報告、並びに世界經濟に關する一切の客觀的法則に矛盾する。英國の資本主義は、今度の總罷業から、勝利者としてひきあげたかも知れぬが、彼が勝利を得るには、政治的にも、經濟的にも、非常に高價な犧牲を拂はねばならぬのだ。茲に政治的といふのは、この鬪爭が勞働者大衆に、改革だけでは無駄だ、吾々はほんとうに鬪はねばならぬといふ意識を吹き込んだからである。そして經濟的といふのは、打ち續く炭坑夫の罷業は英國資本主義の經濟的勢力を切り崩し、弱めて、その勝利を敗北に轉換するからである。かういふ歷史的皮肉

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

はよく起る。ドイツに對する聯合國の勝利は、云はゞ同時にその敗北ではなかつたか？　かういふ論述の正しきを知らしめるためには、フランスを指摘するだけで充分である。

二、二つの司令部――二つの戰術。

英國の總罷業が開始されたのも不意だつたが、それが終りを告げたのは尙ほ一層意外であつた。總評議會は罷業を宣言するに當つて、極度の危惧と遲疑と逡巡とを臆面もなく曝け出したが、一度罷業の決議がなされる段取りになると、夥だしく偉大な決心と敏捷と突進力とを示したものだ。此の罷業に於て、第一に明かになつたものは、勞働者の指導者たちに闘ひを貫徹せんとする希望が欠けてゐたことゝブルジョアジーが最後まで闘はんとする強い要求を持つてゐたことである。吾々は、あの場合、一方では、腰の据らぬ態度と、どうでもかうでも妥協せんとする要求と、裏切と、臆病と、大衆に對する恐怖と、現に行はれつゝある事件の歷史的意義を認識しようとしない白色の意志とを見たが、他方では、堅固な態度と、事物に對する意識的行動と、勞働運動を根こそぎ壞滅せしめんとする決心と固い意志とを見た。總評議會が、階級の敵と闘つてはならぬといふ方法の一例を示したとすれば、ボウルドウ井ン、チャーチル、ジョインソン・ヒックス、ビルケンヘッド氏其他は、如何にして自分の階級の利害を擁護しなければならぬかを示したものである。勞働者軍の司令部とブルジョア軍の司令部とを比較して見るに、總評議會の方が劣つてゐたことは確かである。總評議會は敵手のために十倍も壓倒されてゐたのだ。そして此の場合、總評議會に特別の性質があつたとすれば、それは彼等が敗北よりもむしろ勝利をひどく恐れてゐたといふことである。こんな調子では、こんな綱領では、こんな戰術では、勿論大した進軍はできはしない。だからこそ、英國の罷業は實際永く續かなかつたのだ。あの罷業には、英國の勞働者階級が用ゆることのできた、內部の方策のすべてがまだ實現されてゐなかつた。不意に罷業が終りを告げた時、それはまだもつと進軍ができたのだつた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

この罷業は、國際勞働者運動の運命を念頭に置く總ての人々に、多くの興味を抱かしめる。

あの罷業には外部の歴史と内部の歴史とがある。罷業が終りを告げて、言論の批評が自由になるや否や、勞働者軍の司令部内でどんなことが行はれつゝあつたかを知らしめる色々ないきさつが明かになつた。勞働者軍の此の總司令部が、政府の一擧手一投足で、如何に熱心にもなれば、冷淡にもなつたか、そして勞働者の眞劍で男らしくて勇敢な行動が領袖の眼にとまつた際に、彼等が如何に形式的な熱病に陷つたかは、今や全世界の人々の知るところである。

罷業はたつた九日しか續かなかつたにしても、それは十月革命以後に起つた最も重要な事件の一つとして、勞働者運動の歴史に書き込まれるであらう。この罷業の經過と、それの落着と、それの崩壞の諸原因とは、今後幾年もの間、研究の對象となるだらう。何故なら、それは、肯定的にも否定的にも全國際勞働者運動にとつて極めて意義のある教えを提供するからである。これ即ち吾人が、此の罷業の經過、結着、並びにその崩壞の諸原因、及び英國の内外に與へたそれの影響を熱心に論究する甲斐ありとする所以である。

三、自分の軍隊の勝利を恐れる司令部

あの罷業が終熄したのは、總評議會が、全くあつけなくそれを見捨てゝ、敵の恩惠にすがつたゝめであつたことは周知の通りである。總評議會の首領たちはボウルドウ井ンの名譽にかけた約束を信頼してゐたのだとか、彼等は降服してはゐないのだとか、彼等は何物かをかち得たのだとか、すべてかう云つた風の話振りは鐚一文にも價ひせぬ。城を開け渡してしまつたのは、戰鬪力が衰へたからではなくて、臆病心からであつた。そしてこの臆病心を起さしめたものは、一には敵の戰列にも依つたが、それよりももつと首領部を臆病神にとりつかせたものは、自分の軍隊内に於ける鬪爭氣分の增加であつた。だから、吾々は、皮肉に聞ゆるかも知れぬが、總評議會が鬪爭を止めてしまつたのは、彼等が高まり來つた大衆の戰鬪意志に恐れをなしたからだと主張することができる。これは何んともいやはや！　初歩のすべての戰鬪規律を、初

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

歩のすべての兵法を、――そして罷業の兵法を面喰はせるが、事實だつたのだから致し方がない。勞働者軍の總司令部が敵の軍隊よりも自分の軍隊の方をより多く恐れたが故に、鬪爭は止んだのだ。從つて無條件の降服が、從つて、如何なる多辯を以つてしても、如何なる美辭を以つてしても扮飾されぬ、完全な屈服が起つたのだ。『にも拘らず、同盟罷業はその任務を果してゐる』（パーセル）――なんと立派な言葉だらう。そしてこの言葉が目下英國で流行してゐるとは！　だが、こんな言葉が詐僞師の言ひ草であることは云ふまでもない。そして之等の詐僞師は自分を辯護することを餘儀なくされ、それ故にまた、御苦勞千萬にも現實を扮飾することに努めてゐる。併し乍ら、勞働者たちはそんなお化粧は藥にし度くも持合せてゐない。總司令部の兵法の全『賢明さ』をいくら搜して見ても、今のところ彼等には見當らぬ。そこで彼等が、背信と、裏切と、臆病と、城開け渡しとにかくも反抗して立つてゐるのは、怪しむに足らぬことである。

總評議會がいつも周章狼狽してゐて、絶えず不安に襲はれてゐたことは、今や證人の口供に依つて明かになつた。彼等は、ボウルドウヰンの賢明と公平なる態度とに全幅の信頼をかけてゐたので、ブルジョアジーの戰鬪準備よりも、むしろ勞働者が戰鬪行爲に出づることの方が、彼等をはるかに不安ならしめたのである。總評議會はその軍隊に忠告して休戰をなさしめ、遊戯に均しい平和的行動を採らしめた。『靜かに、靜かに、ボウルドウヰンといふ子供の眼を醒さしちやいかん』――それは、勞働者大衆の絶對權力と信頼とを享けてゐた、之等の氣の弱い詐僞師の合言葉であつた。總評議會は敵の軍隊が潰走するのを恐れたのだ。總評議會は、ボウルドウヰンの『立憲的』政治に少しも反抗する氣はないといふことを幾度も繰返し誓つたのだ。かくして彼等は、『立憲的に』組織されたファスチズムと罷業破りとの聯合軍に出會つて、勞働者を敗北と荒廢とに委ねてしまつたのだ。總評議會は、どんな犧牲を拂つても、總罷業を立憲政治の軌道内に閉ぢ込めやうとしたが、さうするためには、彼等は大衆の戰鬪氣分を抑へ付けて、その狂暴性を窒息せしめ、かくして敗北を目論まなければならなかつた。何故なら、罷業の勝利といふやうなことは、立憲政治の枠に旨く嵌りさうもないからである。かくして總評議會の敗北への回航が始まつた。何故なら、ブルジョアジーの權利（憲法）を保護する者は、勝利を得ることもできなければ、得るわけのものでもないからである。

四、敵の訓令に基いて。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

吾々は茲で、一つの司令部が自分の軍隊の勝利を恐れてゐるといふ奇妙なる事實に逢遭する。この事情を戰時中に起つたよく知れ亘つてゐる先例と比較して見るに、かういふ場合の起るのは、司令部の首領が敵國に買收されてしまつて、敵の役目を務める場合だけである。こんなことは、あらゆる戰爭においてよく起りがちのことである。しかし、總罷業の場合にはそこに重大な相異がある。一人か二人の人間を買收し、そして彼等を通じて敵の軍隊を解體すると云つたやうなことは、戰爭中よくあり得たことだが、總司令部の全體を意のまゝに左右して、それを自分の代辯者を通じて指導し、適當な時期に城の明け渡しをさせるといふやうな先例は、戰爭史においてさへあまり見られぬことである。しかし、戰爭中及び戰後の國際的改革主義は、(領袖)の一部が、勿論金錢のためではないが、單に氣分から、敵と結んで自分の軍隊に當つた場合に、こんな事實を經驗して知つてゐる。

自分の軍隊を、敵の總司令部の指圖に基づいて、こんな風に指導した素敵な實例が英國にある。勝利を恐れることほど敵のために有利なことが他にあらうか？　軍隊の鬪爭精神を恐れることほど敵の氣をひき立てることが他にあらうか？　總司令部が自分の創意を失つて、自分の軍隊の戰鬪力を弱めるために、一生懸命になつてゐる時に、敵は尙ほ何をする必要があるだらう？　かういふ『戰法』では、幾百萬の人間を犧牲にしたつて、恥とは思はなかつた筈だ。

罷業中に英國勞働組合總評議會の採つたすべての態度を細心に吟味して見ると、吾々は、總評議會が恰も政府の訓示を實行したかのやうに行動したと主張せずにゐられぬ。彼等は、恰も企業家の手に丸め込まれたかのやうに行動したのだ。彼等は、恰も敵の軍隊の間諜のみがなし得る如き行動を採つたのだ。そして間諜といふものは、敵の戰列を亂し、士氣を沮喪し、戰線を解體し、動搖せしめて、切り崩すことを狙つてゐるものだ。

そこで吾々が、この觀點の下に、總評議會の採つてきた態度を觀察する時、彼等の正體は完全に暴露される。休息しろだの、遊戯に從事しろだのと云つて絕えず忠告したのは、一體誰れの利益になつたのか？　罷業が傳播するのを拒否したのは、一體誰れの士氣を鼓舞したか？　この罷業は純經濟的な性質を持つものだと絕えず指摘したのは、誰れに利益を齎らしたか？　總評議會がサヴエート組合の友誼的援助を受けることを拒んだ結果は、誰れの利益になつたと思ふか？　すべて之等の問題に對して充分明確な回答を與へるためには、問題をかう列べて見たゞけで充分だ。すべてかうしたことは企業家の利益ではあつたが、斷じて勞働者の利益にはならなかつた。果して然らば、總評議會なるものは政府と企業家と

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の意志を遂行したのだと主張しても、よも誇張だとは云へない。

五、仕事をする權利

こんなことは、どんな場合にも無意識に起るものだと答へたゞけではすまされぬ。或る一部の人があゝしたことを無意識にやつたんだといふことはあり得るかも知れぬが、總評議會の一部は充分意識してあんな行動に出でたのだ。戰爭後、鐵道協會から五千傍にものぼる鐵道株を「贈物」として受取つた、トーマスが、再び同じ位い大きな贈物を貰ふために、適當な時期に罷業を破る義務を引受けたといふことは、あり得ないことだらうか？ そんな先生をこんな風に疑ふのは、充分確實な基礎があるではないか？ だが、豈にトーマス唯一人のみならんやだ。總評議會には、この外にトーマスがまだいくらもゐる、これらのトーマスが罷業の音頭を取つてゐるのだからたまらぬ。左翼だと云はれてゐる、パーセル、ヒックス、其他の如きも、定まつた定見もなければ氣骨もなくて、自分の影におびゑてはいつもぐらついてゐる人々である。

右翼は罷業の初めから之等の左翼に反對であつた。勅命炭業委員會の報告が發表されると間もなく、彼等は坑夫勞働者の要求を無視して極力自分の地位を擁護し、そして坑夫勞働者が勅命委員會の提案を受理すべきことを要求した。すべての街の角々で、彼等は、勅命炭業委員會の報告は「賢明な提案」であるから、吾々はそれを承認しなければならぬと吹聽して廻つた。この點では、彼等は勞働黨の領袖たちと完全に一致してゐたのである。勞働黨の頭袖たちは、坑夫勞働者をどうでもこうでも、勅命炭業委員會の口から語られる企業家の意志に從はせるためには、心身の努力をおしまなかつた人々である。罷業の進行中、右翼は罷業を弱めるために、罷業の發展を阻害するために、そして罷業からブルジョアジーを悩ましたり傷けたりする一切の影響を拔き取るために、あらゆることをなしたのである。クックは或る演說の中で、自分は最近數年間企業家や政府と絕ゑず商議してきたが、總罷業前とその進行中とその後とに於て、總評議會と勞働黨の領袖の側に起つたやうな壓迫が、坑夫勞働者の上に加へられたことは曾つてなかつたことだと云つてゐる。彼等は罷業を破つたばかりでなく、勞働者にあらゆる屈從的條件を調印されたのである。そして之等の屈從的條件の最初に掲げられるものは、彼等が將來のあらゆる連帶的罷業を拒絕する責任を負ふたことである。彼等は意識的に計畫的に罷業を完全に破壞することを目論んでゐた。此の際、かういふ先生の各々がどれだけ大儲けをしたかは、大した重要な問題ではない。彼等は資本の代辯者でなければなし得ないやうな行動を採つたのだ。そしてこの點こそ肝要である。（未完）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

講話

日本の資本主義と外國貿易

伊藤昇

一

是から我國の貿易に就いて其大體を解説して見たいと思ふ。日本の資本主義も漸次發展して今や帝國主義時代に入つて居る。然し、日本資本主義の内容を検討して見れば、其産業に於ては、其基礎は未だ堅固ではなく、纖維工業、雜工業が主たる部分を占め、最近に至つて漸く重工業が盛にならうとして居る。日本の資本主義は、其特有なる封建的殘物を完全に處理して了つて居らない。日本資本主義の最も主要なる部分を爲すものは、直接の國家資本主義としての、大資本家たる政府の事業である。

日本の資本主義は今や帝國主義時代に入つたとは云へ、先進資本主義に比すれば、尚後進資本主義たるを免れない。其故に、我國の資本主義が先進資本主義の踏んだ途を尚進み得るか否かは、世界に於ける帝國主義の運命に掛つて居る。日本の後進資本主義(而かも一方帝國主義に入つて居る)の運命は、世界資本主義の沒落に「合流」して居るのである。

さて貿易は一國の資本主義と世界の資本主義との關係を現すものである。日本の貿易は、日本の産業の狀態に左右され、世界の産業、資本主義との有機的關係に依つて決定される。勿論産業、從つて對外貿易のみが、我國の資本主義と世界資本主義との唯一の關係ではない。帝國主義時代の今日に於ては、資本の輸入、外國からの收入、即ち資本の輸出、海外投資及び企業の收入等がある。又是が甚だ重要なる役割を帶びて來るのである。然し日本の場合に於ては、全輸出入の五十億圓に達するに反して、外國からの種々なる收入は三、

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

四億圓位である。(外資の輸入を合して)其故に日本の場合では、日本資本主義と世界資本主義との關係は、先づ第一に貿易が是を表して居る。

從つて貿易研究の利益は、第一に日本資本主義の現在の發達階段を示す。産業發達の狀態、從つて日本の資本主義の構成が明かになる。日本に於ける主たる工業は纖維工業であり、如何に資本主義的に見て低い階段に屬する工業が產業の大部分を占めて居るか、是事からして資本主義を構成して居る要素、資本主義の對外的及對內的作用等が判明する。

第二には、日本の資本主義と世界の資本主義との關係が明かになる。外國の資本主義に依つて、如何に日本の資本主義が支配されて居るか、世界資本主義の沒落行程に依りて、如何に日本資本主義の今後の狀態、其沒落行程が影響されるかと云ふ樣な問題を明かにする爲に大なる助けとなる。

貿易研究の必要は大體以上の如くであるが、貿易と併せて考へられねばならぬ所のものは次の如くである。

第一に、貨物の輸出入以外に、金銀の輸出入、貿易外受取と云はるゝ運賃保險料、外國人の消費、外國へ投資した資本の利潤等である。最後のものは、一括して、貿易以外に甚だ重要なる地位を占める。第二には、外國金融資本の輸入である。是に依つて日本の無產階級が搾取され、一方日本資本主義が外國の資本主義に段々支配されて行くのである。第三に、日本資本主義の植民地に於ける勢力である。是に依つて日本帝國主義の勢力も決定され、外國の帝國主義との關係も明かになる。第四には、日本の資本主義が外國に於て有する市場である。帝國主義時代に於ては、市場は各帝國主義間に分割され、其爭奪戰が演ぜられる結果、一方に於て、不景氣恐慌が現はれると共に、帝國主義戰爭が勃發する。更に是と關係して日本が外國に於て有する事業、利權、政治的勢力等を併せて考へねばならぬ。殊に亞細亞、即ち支那及西比利亞に於けるものゝ如きは大なる注意を要する。是に依つて日本帝國主義は亞細亞の後進國に大なる壓迫を加へ、且つ此關係は貿易に反映されるからである。

二

さて、實際に日本の貿易を考察するに當つて先づ數字を舉げて最近の狀勢を觀察する

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

最近輸出入表（單位百萬圓）

年次	輸出	輸入	合計	輸出入超過（△入超）
大正三年	五九一	五九五	一、一八六	△　四
四年	七〇八	五三二	一、二四〇	一七五
五年	一、一二七	七五六	一、八八三	四七一
六年	一、六〇三	一、〇三五	二、六三八	△五六七
七年	一、九六二	一、六六八	三、六三〇	二九三
八年	二、〇九八	二、一七四	四、二七二	△　七四
九年	一、九四八	二、三三六	四、二八四	△三八七
十年	一、二五二	一、六一四	二、八六六	△三六一
十一年	一、六三七	一、八九〇	三、五二七	△二五二
十二年	一、四四七	一、九八二	三、四二九	△五三四
十三年	一、八〇七	二、四五三	四、二六〇	△六四六
十四年	二、三〇五	二、五七二	四、八七七	△二六七

以上の表に依つて如何に逐年貿易が增進したかゞ明白になる。且又特に著しきことは歐洲大戰の好況時代に輸出超過が多額に現れたと同樣に、其好況が不景氣、恐慌に變はるゝと共に如何に多額の輸入超過が起つて來たかと云ふことである。從つて又國際資本主義の一環としての日本の資本主義が如何に外國の資本主義への依存が甚だしいかと云ふことが示される。

例へば、我國．米及小麥其他の食糧品を每年貳億圓近く輸入し、大正十三年に於ては貳億五千四百萬圓、大正十四年に於ては、貳億九千五百萬圓を輸入した。のみならず農業生產に最も重要である肥料の輸入は壹億五千萬圓位每年輸入して居る。綿花は大正十四年に於て九億貳千參百萬圓、羊毛は同じく、壹億貳千萬圓、鑛石及金屬、壹億六千六百萬圓（大正十三年には貳億六千百萬圓）機械は壹億五千六百萬圓、（大正十三年には貳億千五百萬圓）を輸入して居る。是だけゝ舉げれば、如何に日本の資本主義が外國從つて世界の資本主義に依存して居るかゞ明かになるであらう。

と同時に、以上の如く貳拾五億（大正十四年）と云ふ巨大なる輸入があると共に、日本の資本主義は、前述の如き巨大なる原料、機械等の輸入に依つて設備されたる生產機關（工場）に於て生產したる生產物を外國に輸出する。此事は此處でも又日本の資本主義が世界資本主義の中に加つて居り、其中に生存して居ることを意味して居る。前記の如き巨大なる輸入が無ければ日本資本主義は生存して行けないと同時に、貳拾參億（大正十四年）と云ふ輸出が無ければ、外國が斯る巨額の產物（輸出品）を買つて吳れなければ日本の資本主義は一日も生存し得られない譯である。

又數字を舉げる。大正十四年に於て、生絲の輸出が八億八千萬圓、綿絲が壹億貳千參百萬圓、綿織物が四億參千貳百萬圓、等で輸入品に比較して非常に貧弱なものである。其故に日本のブルジョアジーは最初に舉げた、貿易外の受取に依つ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て他國から搾取して得て來る利益が減少したことから、其他から急に騷ぎ出し、輸出組合法に依つて、輸出品に關する製造家の組合を作つたり、其他輸出業全體に對して政府が補助を與へたり、國産奬勵なる名前の下に成る可く國産品を使用して輸入を防がうとしたり、更に輸入關税を引上げて所謂保護關税に依つて、特に輸入品の値段を高め、內地資本家の粗惡なる製品を保護して、一般民衆をして、內地資本家から其産物を不當なる値段で買取らせて居るのである。此最後の保護關税は帝國主義の最も著しい特質であつて、國內の資本家の製品を國內では前述の方法に依つて殊更に高く吊上げて置き、反對に外國へは、安く賣つて外國の資本主義と競爭し、國內の勞働者農民に高く賣附けた利益で外國へ安く賣つた(一時の間)損を埋め合せるのである。

最後に先に述べた、日本の資本家が作つた産物を外國が買つて吳れなかつた時には、日本の資本家も資本主義も一日と雖も存立し得ないと云ふ點を說明する。是が爲には先づ外國の資本主義と競爭して市場を獲得することが必要である。其處で各國の帝國主義間の市場の奪ひ合ひとなる。市場の獲得は重大なる問題となつて來る。是が爲に、又世界各國の帝國主義が市場を全部滿足に獲得する爲に一には市場は餘りに狹い結果、各帝國主義の死活の問題として、永久的恐慌が起り、帝國主義戰爭が發生する。例へば、日本が支那、印度、其他亞細亞に於て有する市場に就いて考へて見よ。此等の市場には前述の如く各帝國主義的勢力が互に蒜牙を磨いて爭つて居る。而して日本の帝國主義に取つて是等の市場を失ふことが如何に辛いことであらうか。現に支那に於ては日本の搾取に反抗して日貨排斥、上海日本紡績罷業等行はれ、日本帝國主義に對して、反抗の一大勢力が現れようとして居るし、現に表れて居るのである。其處で日本の資本家達は、一方支那其他の被壓迫國に對して、益々帝國主義的反動政策を施すと共に、如何にかして、此難局を打開せんとして、南洋に對する經濟的侵略を目的とする南洋會議を開いて居るではないか。

三

更に以上の關係を總體的に研究して見る。日本は大正十四年に於て、約貳拾五億圓の輸入額と貳拾參億圓の輸出額とを有した。此は日本の全資本主義經濟に如何なる意味を有するか。是が爲には日本に於ける全生産と消費とを考察しなければならぬ。我國の消費年額は約百拾億圓內外であり、生産能力は百五億內外である。(東京日々新聞調査)以上の生産額の內から貳拾億圓以上を輸出し、又同時に其以上の額を輸入する。然し、是の輸出に對する輸入の超過額は前記の消費、生費年總額の差五億圓內外でなければならぬ。即ち我國は年々

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

五億圓内外の輸入超過に依つて經濟を立てつゝあるのである。事實大正九年以後十四年に至るまでの間の年々の輸入超過は約四億圓である。即ち我國の經濟が如何に世界の資本主義に依つて決定されて居るかゞ一目瞭然に明るのである。

然らば資本家は以上の巨大なる輸入超過を如何に處置するか。先づ第一に、政府當局其他大資本家等は右の如き事實は憂ふ可き事柄であるこ口先では言つて居る。然し事實は此は彼等に取つて決して憂ふ可き事柄ではないのである。彼等は(從つて彼等の手先である政府は)斯る巨大なる輸入に依つて利益を占めるこごが出來れば、何時でも輸入を行ふのである。彼等は巨大なる綿花を輸入して、綿絲を支那に輸出し、機械其他原料を輸入して、日本に今迄盛んでなかつた金屬工業を興さうこして居る。輸入したものを巨利を貪つて一般民衆に賣り附けようとして居る。處が輸入超過が長續けば爲替が下る。そして外國輸入品は高くなつて一般民衆が困るのである。唯彼等は輸入が餘り超過するこ、爲替が下り、從つて日本貨幣の外國に於ける信用が下る結果引續いて大なる輸入が出來なくなるこゝの心配だけである。而かも此爲替の低下(今では爲替は上つたが)をも彼等の利益(大銀行家、大工業家)の利害の爲に何時までも下つた儘にして置きたがるのであり、今まで其儘にして置いたのである。

然し彼等は如何にして、此年々の輸入超過に對する、代金を外國に支拂ふのであるか、是に對する解答は日本の資本家は前にも述べたるが如く、貿易以外に於て外國から金を受取る。此受取つた部分こ輸入超過に依つて、外國へ支拂はねばならぬ餘分こを差引勘定する、即ち埋合せる。斯る貿易外受取の主たるものは、日本汽船運賃、海外投資利益等である。海外投資利益こは、勿論日本の資本家が海外殊に亞細亞に於て有する利權、事業、等、即ち其等の國を搾取して得て來るものこ外國の公債、株等に投じた資本の利益であるが、今は是は甚だ少ない。是だけで輸出超過に依る餘分な支拂に不足する時は、日本の政府乃至全資本家は外國の資本を輸入しなければならぬ。こ言つたからとて、何も輸出入の方が主で、是の埋合せに外資を輸入するのではない。彼等資本家は積極的に内地に事業を興す爲に外資を輸入して、直接に勞働者農民の搾取に當てるのである。此に於て、外國資本殊に米國の資本が、日本の無産大衆の搾取に使用されるのである。日本の資本家は、此場合米國金融資本の手先こなる。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

貿易外受取が、歐洲大戰の好況時代には、大正五年に貳億八千五百萬圓、六年に四億五千六百萬圓、七年に五億五千五百萬圓、八年に五億四萬圓、九年に參億壹千七百萬圓あつたものが、恐慌に襲はるゝと共に、十年に壹億參千萬圓、十一年に壹億四拾萬圓、十二年に壹億貳千參百萬圓、十四年に壹億六千七百萬圓に減少した。一方外資の輸入は、大正十二年に壹億貳千參百萬圓、大正十三年に五億五千貳百萬圓であつた。大正十四年は不明であるが、貳億圓近くに達することは明かである。以上の如き種々なる關係から最後の外國との收支勘定は何うなつて行くかと云ふこと、大正十二年には、輸入超過が六億貳千貳百萬圓で、外國からの受取が參億八千四百萬圓で、貳億參千八百萬圓の不足、大正十三年には、輸入超過が七億貳千六百萬圓で外國からの受取四億七百萬圓、不足參億千九百萬圓である。斯の如くにして、日本の資本家は少なくとも年々貳億圓位の外國の金融資本を輸入しなくてはならぬのである。日本資本主義の世界資本主義に對する依存關係は益々深まつて行くが是には、日本の輸出は、少なくとも、資本家のごまかし其他で事實より少額に見積られて居る。其は總額から、五分乃至六分少なく見積られて居ることは公知の事實である。以上の事柄に依つて、如何に日本の資本主義が外國の資本主義即ち世界主義に結び附いて居るかを如實に物語つて居る。世界資本主義は今や沒落の過程にある。斯の如く世界資本主義に密接に結び附いて居る日本資本主義が是と運命を共にするのは必然である。

今年の上半期の貿易は、案外な不成績であつて、政府資本家が騒いで居ると云ふ。輸入超過が九月までに、去年の參億七千萬圓から四億圓に增加し、我國輸出增大期たる七月以降輸出が却つて減少したと云ふのである。日本の資本主義が益々窮境に陷つて、却つて支配階級の帝國主義政策が露骨になり益々反動の色を濃くしつゝあることが、窺はれるではないか。經濟界の一時的な安定も怪しいものである。吾々は一方に於て、常に斯る形勢に注意を怠つてはならぬ。

以上に依つて、大體貿易を大把みに說明し終つた。まだ云ひ足りないこともあるが、一先擱筆する。

（一九二六、一〇、一二）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ブックレビュウ

改良主義論

ローザ、ルクセンブルグ著
緒方潔
沼田光一郎 共譯

本書は原著者の「社會改良か革命か」を譯したものである。原著書の經歷等に就いては、最早何人も知り盡して居る所であつて、又此書が如何なる意義を持つかと云ふことも、大體知られて居る所である。此著書が現れたのは一八九九年であつて、其頃獨逸社會民主黨の中に現れた修正主義理論に對して反駁を加へたものである。所謂修正主義理論とは、マルクス主義を修正することを主張したものであつて、此修正に依つてマルクス主義の修正に非ずして、マルクス主義の否定對立物を作り出したのである。修正主義の內容は二個の方面から成る。一はマルクス主義の哲學的基礎である。唯物史觀乃至唯物論に對して、カント哲學の置換へ、他は、マルクスの經濟的分拆の修正拒否に依る其の社會變革論の否定並に革命的戰術の拋棄である。是事は獨逸社會民主黨の平和的發展の結果必然的の運命であつた。大戰前の帝國主義の展開、表面上恰かも平和的に向上しつゝあるかの如き資本主義、勞働貴族官僚の發生、小ブルジョア分子の無產階級政黨內への流入及是による黨の事務上の管理等の結果必然に生じたものであつて、一方勞働大衆乃至其前衞分子すら、當時に於ける帝國主義の本質、特に來らむとする帝國主義の破綻等に就いて正しき意識が無かつた。

ベルンスタインの修正主義理論は一應はマルクス主義を修正補足すると云ふ點に現れて居る。然し是はマルクス主義が黨の敎義となつて居た獨逸に於ての故に左樣であつたので、其理論の本質は正に他の國に見るマルクス主義に非らざる理論と同じであつたのである。是に對する駁擊は當然マルクス主義の正當なる解釋、特に帝國主義時代に於ける其發展を以てしなくてはならなかつた。

さて、ローザは如何に是を取扱つたか、固より彼女の書いたものは一切に止らぬが、此譯の臺本を爲すものは一小册子である。其第一編に於て日和見主義方法論を論じ修正主義による經濟的分拆、マルクス說に對する修正を自[illegible]にマルクス主義と正反對に立つ似而非理論と論斷してゐる。彼女は曰ふ「ベルンスタインの修正の全體が、結局資本主義發展の步みは通常考へられて居るより遙かに緩漫なものであると云ふことに要約されるとすれば……このことから實際上精々闘爭の步調が幾らか緩漫になると云ふ結果が生じ得るに過ぎないであらう。だが問題が違ふ。ベルンスタインが問題にしたのは、資本主義の發展行程其物であり、それに關聯して社會主義への推移である」此の論據として、ベルンスタインの擧げたカルテル、信用、完成された交通手段等を以て、資本主義の適應手段となし、所謂資本主義發展行程の修正を主張するのに對して一々反駁して居る。

第二編に於ては、戰術の問題を說いて、プロレタリアートの闘爭的態度と修正主義との關係を論じて居る「社會主義の綱領はプロレタリアートの政治的支配の或瞬間に於て全く役に立たずそして其實現に何等の指示をも與へ得ないであらうと云ふ主張の背後には、暗々裡に他の主張即ち社會主義綱領は一般に、そして實現不可能のものであると云ふ主張が隱れて居る」と彼女は云ふ。是を日本の現狀と比較して見よ。

吾々は是以上紹介する餘白を持たぬ。實際ローザの著にも、其年代が早かつた爲に、又小册子の故に說いて不充分なる點もある、帝國主義と云ふ言葉は未だ見當らぬ。併しプロレタリアートの眞實な闘爭的な態度は如何に問題を扱ふ可きかと云ふことだけは明瞭にされて居る。資本主義の發達階段なるものが論ぜられる日本の今日、右翼に對する種々の態度對策が論ぜらるゝ、今日此書も又其相當の價値を有するものと云ひ得る。敢へて推稱する所以である。

（希望閣發行定價壹圓參拾錢）

（M・I生）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

編輯後記

■僚誌「マルクス主義」が「大衆」批判號をわざ〳〵發行された事は、感謝に耐えない。

同志として、ゆるされた範圍で、これに應戰する準備はしたが、遺憾ながら、全體的の態度は、「泥」を投げつけるにあつたやうだ。吾々は、その「泥」を投げ返えすに忍びない。が、理論鬪爭の、手段を、福本氏によつて、實演されたことを、あはせて感謝する。

■しかし、吾々は、又少なからず、僚誌「マルクス主義」に示敎されたことの多かつたことを信じて疑はぬ。特に又、山川氏の、熱意をこめたる意見と態度には、示敎されたところも多く又感謝しなければならぬと思ふ。

殊に、氏の論文を、おこがましくも批判したる筆者は、當然、此の論文にお答へしなければ、すまないと思ひ、又お答えすべく些か私見を抱ひてゐるが、かゝる特殊の問題の論爭は、意外の方面に波及し易く、事實好ましからぬ影響のおこつたことを聞知したが爲めに、「大衆」はこれを取扱はないことにした。氏には、いづれ手紙を以て、お詫びします。

■なほ、僚誌「マルクス主義」によつて、吾々同人の、思はざる注意を喚起したことは、例へば時評にしても、同人會議に附議されたことはなく、署名者の責任に於て、物され、その他多く、さうであつたが、編輯後記まで、が、大衆同人の、全責任に問はれて、非難の資料に提供されるとなると、常にこれではならないと想つてゐるだけに、同人の編輯事務に付て、注意を深く呼び起した次第である。

■先月號は、印刷の都合で、發行が遅れたので、同志諸君から、矢繼ぎ早やの督促を受けた始末、販賣が減少するかと、係りの某君が、首をすぼめて案じてゐたが、案ずるよりは産むが易いので、新らしい讀者の殖えつゝあることは、僕等までが愉快に耐えない。

幸ひ、十一月號は豫定の如く發行されるが、十二月號は、大いに内容を豐富にし、資料なども有益なものを、どし〳〵提供する準備中である。

■勞農黨も、此の日、分裂した。そして直ちに勇敢に再起した。しかし、新らしい困難は、待ち受けてゐる。吾々は、踏み越え〳〵困難を乗り越えねばならぬ。と云ふことは、困難を踏み破ることゞあつて、間違つても、踏み違えて、勞農黨を踏み碎ひてはならぬ。同人大山氏が、中央委員に推薦されたと云ふ。お互ひに、益々、多忙だ。

（十月廿四日SS生）

定價

○壹部參拾錢（送料壹錢）
○半年壹圓七拾錢（稅共）
○一ヶ年參圓參拾錢（稅共）

廣告料

○一等八拾圓
○二等五拾圓
○三等參拾圓
（但し、半頁はお斷り）

大正拾五年十月廿八日印刷
大正拾五年十一月一日發行

編輯發行兼印刷人　黑田壽男

東京市芝區南佐久間町二ノ二
發行所　大衆社
（振替口座東京一六二三八番）

河上肇編輯

マルキシズム叢書

▲本叢書は、吾々がマルキシズムの研究のため缺ぐべからざる、少くとも有益なる文献と認むるものを、順次收めてゆく爲の一つの文庫である。

▲各冊の頁數、從つてその裝釘は、全く不同である。

▲たゞ吾々の期するところは、その外部的顯現の多樣性に拘らず、その内容に於て本質的の統一を保たしめんことである。

▲未開の曠野は遠く前途にひろがる。吾々は吾々の力の竭くる日に至るまで、最善を盡して此の叢書の冊數を累積してゆくであらう。

近刊

反デューリング論(エンゲルス) 林要、河野密共譯

カントに於ける辯證法(デボーリン) 宮川實譯

獨逸農民戰爭(エンゲルス) 是枝恭二譯

續刊豫定

神聖家族(マルクス エンゲルス)……河野密譯

經濟學批判序說(マルクス)……宮川實譯

價値形態論(マルクス)……赤松五百麿譯

ヴエラ・ザスリッチへの手紙(マルクス)……淺野晃、喜多野淸一共譯

社會科學問答(エンゲルス)……森戸辰男譯

ケルン共產黨事件(マルクス)……村山藤四郎譯

初版資本論首章(マルクス)……小林輝次譯

京都市丸太町通寺町東 振替大阪一七〇五番

弘文堂書房

東京市神田區淡路町二 振替東京三五九〇九番

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

改版

河上肇譯（マルクス原著）

勞價價格及利潤

▲勞働學校・講習會等における最上の教科書の一つ▼

本書はマルクス自身の筆になる彼れの經濟理論の要約としてマルクス經濟學入門の最上の手引である。今回三たび譯文の校訂を經、補註を加へ、縮刷版となし、定價は舊版の約三分の一に引下げ、廣く江湖の需要に應ぜんことを期す。（マルキシズム叢書第五冊）

定價	四〇錢
送料	一五錢
普及版	

淺野晃譯（マルクス原著）

哲學の貧困

一八四七年フランス文を以てマルクスの著した經濟學上の處女作である。之より先きフランスの社會主義者プルードンは「貧困の哲學」を著した。本書はこのプルードンの小ブルジョア的見解の迷妄を論駁するために著したもので、吾々はそこに早くも後年におけるマルキシズムの理論的細胞の多くのものを見出すことが出來る。本譯書は、これをフランスの原文より直接に譯出し、尚附錄としては「マルクスのプルードン觀」、「マルクスの自由貿易論」（櫛田民藏氏譯）、エンゲルスの長序、等々を添へ、以て定譯本となすに足る丈の用意を盡したもの。（マルキシズム叢書第二冊）

定價	二九〇錢
送料	一八錢
四六版背クロス	
約	四三〇頁

京都市丸太町通寺町東
振替大阪一七〇五番

弘文堂書房

東京市神田區淡路町二
振替東京五三九〇九番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

産業勞働調査所編

大正十六年 勞農日記

十一月中旬發賣

（内容一般）

世界土地人口對照表
農業統計 十種
第二、第三インタナショナル略史
アムステルダム●モスコウインタナショナル略史
世界主要勞働運動比較表
各國人口組合員の比
勞働農民黨綱領規約

ポケット型
（假定）
クロース表裝（赤） 五十錢
麻布表裝 六十錢
（郵税共）

我國勞働人口、工場鑛山勞働者數
我國組織勞働者數
ストライキ統計
農民運動、現勢
地方協議會の歷史と現勢
無産青年運動、學生運動小史
勞働法規早わかり、各種法規
無産團體所在地名簿
何を讀むべきか

▼御注文は必ず前金のこと、無産者團體からの多數御注文には割引あり。
▼御送金は振替（東京六七八一九）を御利用下さい。代金引換はなるべく御斷りします。

申込所

東京市麴町區内幸町一ノ六
第三東鳴倶樂部
産業勞働調査所出版部
振替（東京六七八一九）
電話（銀座六一三七）

大阪市此花區江成町一一〇
産業勞働調査所關西支所

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

堺利彥著
（最新刊）
無產社パンフレット（11）
價貳拾錢

ロシヤ革命
十一月七日

社會主義大意……堺利彥（、一〇）
勞働と資本……マルクス（、一五）
社會主義と進化論……パンネコク（、二〇）
利潤の出處……マルクス（、二〇）
社會主義學說大要……堺利彥（、三〇）
ゴタ綱領批評……マルクス（、二〇）
パリコンミユン……堺利彥（、二〇）

ロザの手紙……堺眞柄（、一〇）
唯物史觀要約 資本蓄積傾向……（獨英和對照譯）（、三〇）
左翼小兒病……レーニン（、三〇）
ロシア革命十一月七日……堺利彥（、二〇）
辯證法解說……堺利彥（、一〇）

平易と明解を主としたる當社出版物は無產階級團體の教材として最も價値あるものです・團體にて多數注文の節は割引します・尚この他社會問題に關する內外の書籍の取次をします・又月刊『赤い星』（價參錢）及び名著だよりは無代贈呈但し參錢切手封入のこと・代金引換は一切御斷りします

東京麴町八ノ二〇　無產社　振替東京二四六二六

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大阪市役所社會部編纂

月刊 勞働月報

大正十五年七月 第六十三號

定價壹部 拾貳錢 郵稅 貳錢 半ヶ年分七拾五錢

資本主義文明は何れの國に於ても都市を中心として流れて居る。吾々は都市を正視することに依つてあらゆる近代的知識の要求を充し得る。此意味に於て我國に於ける代表的都市を求むれば大阪市を措いて之れに比肩し得るものはないであらう。勞働月報は卽ち此の地に於ける信憑すべき資料に基き正確簡明に其の產業並に勞働狀態を表出せんとするものである。今や勞働問題は論理的討究より事實そのものゝ調査研究に向つて進まんとして居る折柄本誌の如きは正に好個の指針たるべきを信じて疑はない。敢て江湖に薦むる所以である。

―大阪市社會部編纂―

餘暇生活の研究	定價二、八〇	送料、一八
工場勞働 雇傭關係	定價三、〇〇	送料、一八
勞働雇傭狀態	定價二、〇〇	送料、一五
最近勞働爭議顚末 I	定價二、〇〇	送料、一八
同 II	定價一、七〇	送料、一八
朝鮮人勞働者問題	定價一、〇〇	送料、一五
日傭勞働者問題	定價二、五〇	送料、一八
勞働組合運動	定價三、〇〇	送料、一八
勞働組合と勞働爭議	定價三、〇〇	送料、一八
最近借地借家爭議顚末 I	定價二、五〇	送料、一八
同 II	定價一、三〇	送料、一八

京都市丸太町通寺町東 振替大阪一七〇五番

弘文堂書房

東京市神田區淡路町二 振替東京五三九〇九番

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大正十五年四月二十四日第三種郵便物認可
大正十五年十一月二十八日印刷　大正十五年十二月一日發行（毎月一回一日發行）

住谷悅治著

唯物史觀よりみたる 經濟學史

四六版布製
約三百六十頁
定價貳圓貳拾錢
送料拾八錢

社會思想叢書第六編……經濟學史の著書は多いが、多くは無批判的に史實を羅列してゐるか、さもなくば、理念そのものを實際生活から切り離し、恰も獨立の成長をなせるものなるかに取扱つてゐる。一言にして蔽へば、多くは皆な有産者的見地からの歴史である。これに反し、本書はマルクスの唯物史觀を論究の基調とし、思想の歴史と現實の生活との辯證法的聯絡を暴露することを主眼となしたるもの。邦語において初めて誕生したる無産者階級のための唯一の思想史大觀である。

最新刊

田中九一譯　經濟學大綱（ボルハルト）……二・五〇・送・一八
嘉治隆一、後藤信夫共著　マルクスとエンゲルス……三・三〇　送・一八
三輪壽壯譯　社會民主黨綱領解說（カウツキー）……三・五〇　送・一八
友岡久雄譯　價値論の社會的研究（ペートリ）……二・三〇　送・一八
八木澤善次譯　英國價値學說史（リープクネヒト）……一・八〇　送・一八

京都市丸太町通寺町東　振替大阪一七〇五番
弘文堂書房
東京神田淡路町二ノ四　振替東京五三九〇番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN